

2002 年春季年会

年会プログラム

於 茨城大学

2002 年 3 月 28 日 (木) ～ 3 月 30 日 (土)

日 本 天 文 学 会

<年会プログラムは、取り外せます。>

日本天文学会 2002 年春季年会プログラム

場 所 茨城大学 (案内図参照)

〒310-8512 水戸市文京 2-1-1

電話 090-4387-6893 <使用期間 2002 年 3 月 27 日 (水) ~ 3 月 31 日 (日)>

日程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
3月27日 (水)							記者会見						
3月28日 (木)	A		R. 銀 河		(理 事 会) 昼 休 み	ポ ス タ ー	R. 銀 河		天文教育 フォーラム (A会場)				
	B		N. 恒 星				N. 恒 星						
	C		M. 太 陽				M. 太 陽						
	D		W. 飛翔観				W. 飛翔観						
	E		T. 銀河団										
	F		Q. 星 間				Q. 星 間						
	G		ジュニア セッション				ジュニア セッション						
		ALMA 特別セッション (G会場)											
3月29日 (金)	A		R. 銀 河		ポ ス タ ー	(評 議 員 会) 昼 休 み	R. 銀 河		総 会 会 社 総 会 出 席 者 確 認	研 究 奨 励 賞 受 賞 記 念 講 演		懇 親 会	
	B		N. 恒 星				N. 恒 星						
	C		M. 太 陽				M. 太 陽						
	D		W. 飛翔観				Y. 教育						
	E		A. しし群				A. しし群						
	F		Q. 星 間				V. 地上観						
3月30日 (土)	A		R. 銀河/S. 銀河核		ポ ス タ ー	昼 休 み	S. 銀河核						
	B		N. 恒 星										
	C		P. 星・惑星				P. 星・惑星						
	D		K. 天力/L. 太陽系				L. 太陽系						
	E		X. 情報/U. 宇宙論				U. 宇宙論						
	F		V. 地上観				V. 地上観						
3月31日 (日)							公開講演会 (一般対象)						

A	会場	：	共通教育棟 2 号館	10 番教室
B	会場	：	共通教育棟 2 号館	26 番教室
C	会場	：	共通教育棟 2 号館	37 番教室
D	会場	：	共通教育棟 2 号館	30 番教室
E	会場	：	共通教育棟 2 号館	46 番教室
F	会場	：	共通教育棟 2 号館	41 番教室
G	会場	：	人文学部講義棟	10 番教室

受 付 : 共通教育棟 2 号館 11 番教室
 受付 (ジュニアセッション) : 人文学部講義棟
 ポスター会場 : 体育館
 展示コーナー : ポスター会場
 総 会 会 場 : G 会場
 懇 親 会 場 : 福利センター (生協食堂)
 会 議 室 : 地域総合研究所 (2 F)

◎講演数・参加費用

講演数：合計 498

(口頭講演 (a)：288、ポスター講演 (b)：158、ポスター講演 (c)：52)

基本登録料：会員 3,000 円、非会員 5,000 円 (1 講演分の講演登録料を含む)

追加講演登録料：3,000 円 (追加 1 講演につき)

年会予稿集：2,000 円 (購入希望者のみ)

※基本登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 6 会場で併行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。名前の直前に○印のある著者が講演者です。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180×横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、3 月 28 日の 9:30 から 3 月 30 日の 15:00 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP をご使用下さい。(ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。)

◎会期中の行事

1. 記者会見：27 日 (水) 13:30～ 会議室
学会講演の中から、3～4 のトピックスを選び、記者会見を行います。
2. ジュニアセッション：28 日 (木) 10:00～12:00 G 会場
14:00～15:50
3. 理事会：28 日 (木) 12:00～13:00 会議室
4. 天文教育フォーラム：28 日 (木) 16:00～17:30 A 会場
5. ALMA 特別セッション：28 日 (木) 16:00～18:00 G 会場
6. 評議員会：29 日 (金) 12:30～13:30 会議室
7. 総会：29 日 (金) 15:30～17:00 G 会場
(15:30～16:00 総会出席者確認、16:00 総会開始)
主な議題 = ○2001 年度事業報告
○2001 年度決算報告・監査報告
8. 研究奨励賞受賞記念講演：29 日 (金) 17:00～17:30 G 会場
「銀河の形成と進化の理論的・観測的研究」 児玉忠恭 (東京大学 助手)
9. 懇親会：29 日 (金) 18:00～ 福利センター (生協食堂)
10. 公開講演会：31 日 (日) 14:00～16:30 茨城県立図書館

◎第4回ジュニアセッション

主催：日本天文学会 共催：天文教育普及研究会
後援：日本惑星協会、ブリティッシュ・カウンシル
茨城県教育委員会、水戸市教育委員会、茨城大学

日時・場所：2002年3月28日（木）10:00～12:00
14:00～15:50 G会場（人文学部講義棟 10番教室）

（ポスター発表は年會会期中ポスター会場にて）

プログラム：年會プログラム46～48ページに掲載

◎ALMA 特別セッション「ALMA で探る宇宙—活動銀河の形成と進化—」

主催：日本学術会議 天文学研究連絡委員会
日本天文学会
日本学術会議 電波科学研究連絡委員会 J 分科会
国立天文台電波専門委員会 ALMA 計画推進小委員会

日時・場所：2002年3月28日（木）16:00～18:00 G会場（人文学部講義棟 10番教室）

概要：ALMA（Atacama Large Millimeter/submillimeter Array; アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計）計画は、日本・北アメリカ・ヨーロッパの三極による共同建設・共同運用を目指して、現在各極の予算確保の最終的な段階にあります。
我が国では2002年度予算に大型ミリ波サブミリ波干渉計の研究開発経費が認められる見通しです。これにより我が国の最先端技術を駆使して設計・開発を進め、ALMA計画の実現に向けて大きな第一歩を踏み出します。
本特別セッションでは、ALMA計画の最新の進捗状況を報告するとともに、ALMAで実現される高感度・高空間分解能・サブミリ波という周波数の窓が、日本および世界の研究にどのような新展開をもたらすかを考えます。星・惑星系形成（2001年春季学会時）および銀河の形成と進化（2001年秋季学会時）などの課題の検討に引き続き、今回はALMAの重要課題である活動銀河の形成と進化を取り上げます。二講演の後、総合討論では我が国の各種の大型観測機器との研究協力や、それに関連した日本の研究体制の議論も行いたいと考えます。幅広い分野の研究者の皆さんのご参加をお待ちしております。

プログラム：1. あいさつ （天文研連 池内 了 委員長）
2. ALMA計画の現状と今後 （国立天文台 教授 川辺良平）
3. ALMAで探る活動銀河の進化 （東北大学 助教授 谷口義明）
4. 活動銀河形成の諸問題とALMA （京都大学 助教授 鶴 剛）
5. 総合討論
 — ALMAと各種大型観測機器との研究協力—（司会：国立天文台 教授 井上 允）
 ショートコメント：ASTRO-E2、すばる、ASTRO-F、VSOP/VSOP2関係者等

世話人：池内 了（天文研連委員長、名古屋大学 教授）
鶴 剛（京都大学 助教授）
井上 允（天文研連委員、国立天文台 教授）

◎天文教育フォーラム 共催：天文教育普及研究会

テ－マ：「新しい天文教育・普及の流れが見えた？」

日時・場所：2002年3月28日（木）16：00～17：30 A会場

概要：ここ数年、『日本HOU協会（JAHOU）』や『高校生天体観測ネットワーク（Astro-HS）』などの有志団体が中心となって、学校とのリンクを視野に入れた天文教育活動が行われてきた。また『銀河学校』『君が天文学者になる4日間』など研究機関や公開天文台が中心となって行われる天文教育活動も増えてきている。これらの活動に共通に見られるのは、学習者の自主性を重んじつつ、主催者が伝えたい事柄を伝えていこうという姿勢ではなからうか。一本道を辿らせるのではなく、森の中を自由散策しながら必要な事柄を身につけるという方法である。

今回のフォーラムは実践活動の紹介にとどまらず、最近の天文教育・普及に共通する流れを見出し、今後の活動の良き礎とすることを目指したい。

参加費：天文教育フォーラムおよびジュニアセッションのみの参加者は、参加費（年会基本登録料）は不要です。年会受付で、その旨お伝えください。

実行委員：吉川 真（宇宙科学研究所）、大島 修（岡山県立鴨方高校）
浜根寿彦（ぐんま天文台）、松本直記（慶應義塾高校）

◎日本天文学会公開講演会

共催：茨城県立図書館

後援：茨城県教育委員会、水戸市教育委員会、茨城大学

テ－マ：「宇宙の歴史」

日時：2002年3月31日（日）14：00～16：30（13：30開場）

場所：茨城県立図書館 2F・視聴覚ホール（水戸市三の丸1-5-38）

対象：中学生以上・一般向け

講演Ⅰ：「太陽系外惑星の発見：第2の地球は何処に」

講演者：東京工業大学・助手 田中秀和

1995年に、我々の太陽系外の、他の恒星を周回する惑星が発見された。それ以来現在までに、70もの太陽系外惑星が次々と観測されている。これら発見された太陽系外惑星達の多くは、我々の太陽系とは大きく異なるものであった。本講演では、これら太陽系外惑星の観測結果や、形成理論、将来における地球型惑星の観測計画などをわかりやすく紹介する。

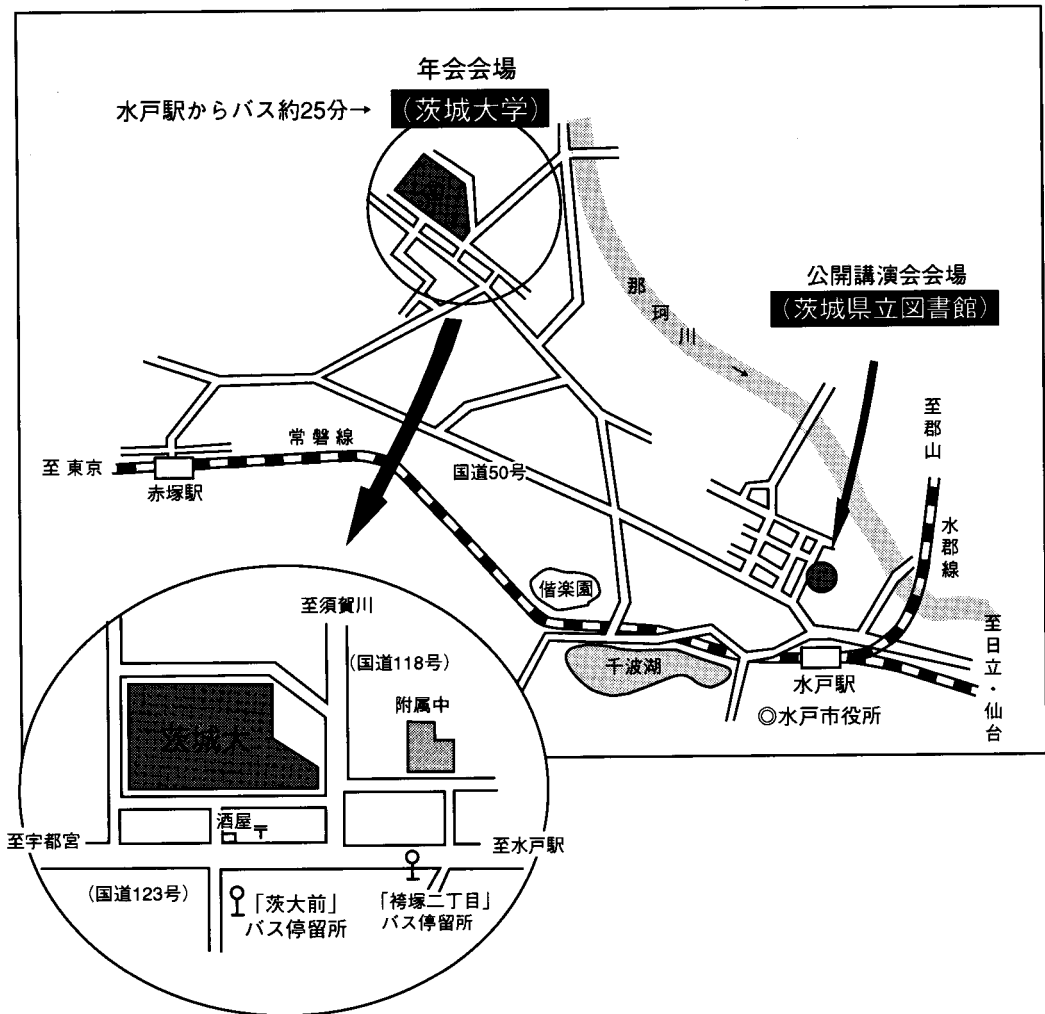
講演Ⅱ：「宇宙の過去はどこまで見えたか」

講演者：東京大学・教授 岡村定矩

光の速度は有限でありまた宇宙は極めて広大であるために、遠方の天体は過去の姿を見せている。しかしながら、宇宙の歴史150億年を遡れるほど遠方の銀河やクェーサーが、統計的な議論になじむほどの数まで観測できるようになったのは、ここ数年のことに過ぎない。すばる望遠鏡によるデータを中心とする最新の観測データに基づいて、銀河の進化や銀河間空間の再電離など、宇宙の過去に起こった出来事が、どれくらい見えて来たかをわかりやすく紹介する。

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。なお、駐車場は混み合うこともございますので、できるだけ公共の交通機関をご利用下さい。

春季年会会場（茨城大学）のご案内



交通案内

茨城大学

JR水戸駅下車

北口バスターミナル7番のりばから「栄町経由茨大行」茨大前下車【所要時間 約25分】

茨城交通の路線番号

2・12・22・24・41・42・43・45（すべて栄町経由）

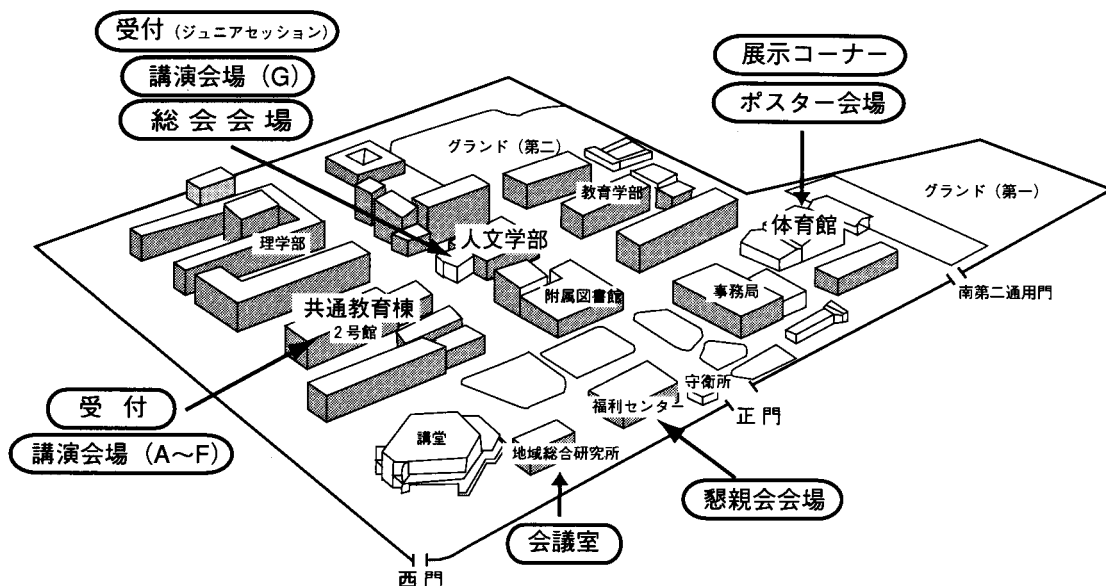
※学内には駐車場はありません。公共の交通機関をご利用下さい。

茨城県立図書館

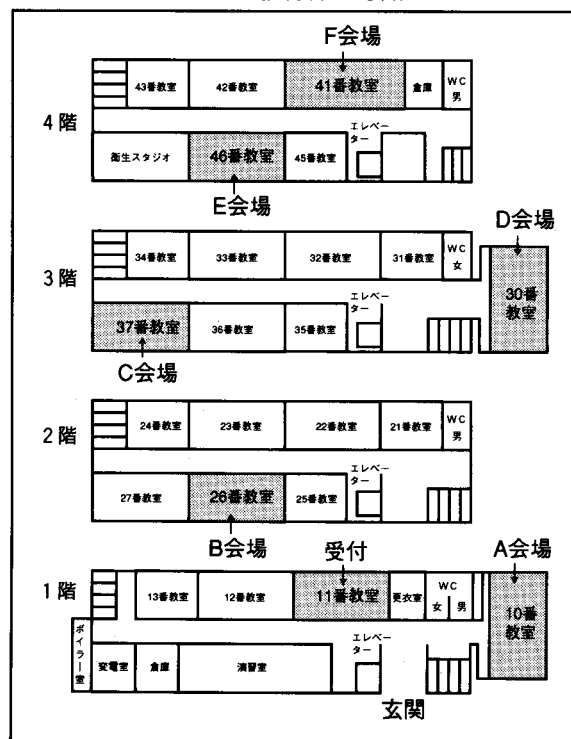
JR水戸駅下車、北口より徒歩約10分

年会会場案内図

茨城大学 水戸キャンパス



共通教育棟 2号館



受付：共通教育棟 2号館 11番教室

受付：人文学部講義棟
(ジュニアセッション)

講演会場

A会場：共通教育棟 2号館 10番教室

B会場：共通教育棟 2号館 26番教室

C会場：共通教育棟 2号館 37番教室

D会場：共通教育棟 2号館 30番教室

E会場：共通教育棟 2号館 46番教室

F会場：共通教育棟 2号館 41番教室

G会場：人文学部講義棟 10番教室

ポスター会場：体育館

展示コーナー：ポスター会場

総会会場：G会場

慰親会場：福祉センター (生協食堂)

口頭セッション

3月28日(木)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	【銀 河】	【恒 星】	【太 陽】	【飛翔観】	【銀河団】	【星 間】	ジュニアセッション
10：00	R01a	N01a	M01a	W01a	T01a	Q01a	
10：12	R02a	N02a	M02a	W03a	T03a	Q03a	
10：24	R03a	N03a	M03a	W04a	T04a	Q04a	
10：36	R04a	N04a	M04a	W05a	T05a	Q05a	
10：48	R05a	N05a	M05a	W06a	T06a	Q06a	
11：00	R06a	N06b, N07b	M06a	W07a	T07a	Q07a	
11：12	R07a	N09a	M07a	W08a	T08a	Q08a	
11：24	R08b,R09b,R12b	N10a	M08a	W09b - W11b	T09a	Q10a	
11：36	R13b - R15b	N11a	M09b - M11b	W12b - W14b	T10a	Q11a	
11：48	R16b - R18b	N12a	M12b -M14b	W15a	T11b - T13b	Q12b - Q14b	
12：00	R19b		M15b		T14b		
	昼休み						
13：00	ポスター						
	【銀 河】	【恒 星】	【太 陽】	【飛翔観】		【星 間】	ジュニアセッション
14：00	R20a	N14a	M17a	W16b - W18b		Q15a	
14：12	R21a	N15a	M18a	W19b - W21b		Q16a	
14：24	R22a	N16a	M19a	W27a		Q17a	
14：36	R23a	N17a	M20a	W28a		Q18a	
14：48	R24a	N18a	M21a	W29a		Q20a	
15：00	R25a	N19a	M22a	W30a		Q21a	
15：12	R26a	N20a	M23a	W31a		Q22a	
15：24	R27a	N21a	M24a	W32a		Q23a	
15：36	R28a	N22a	M25a	W33b - W35b		Q24a	
15：48	R29a	N23a	M26b - M28b	W36b - W38b		Q25b - Q27b	
16：00	天文教育フォーラム（A会場）			ALMA特別セッション（G会場）			
17：30							
18：00							

□頭セッション 3月29日(金)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
	【銀 河】	【恒 星】	【太 陽】	【飛翔観】	【しし群】	【星 間】
09:30	R30a	N24a	M29a	W41a	A01a	Q28a
09:42	R31a	N25a	M30a	W42a	A02a	Q29a
09:54	R32a	N26a	M31a	W43a	A03a	Q30a
10:06	R33a	N27a	M32a	W44a	A04a	Q31a
10:18	R34a	N28b, N29b	M33a	W45a	A05b, A07b, A08b	Q32a
10:30	R35a	N30a	M34a	W46a	A09b - A11b	Q33a
10:42	R36a	N31a	M35a	W47a	A12b - A14b	Q35a
10:54	R37a	N32a	M36a	W48a	A16b - A18b	Q36a
11:06	R38a	N33a	M37a	W49a	A19a	Q37a
11:18	R39b - R41b	N34b, N35b	M38a	W50a	A20b - A22b	Q38a
11:30				W51a	A23b - A25b A26b	Q39b - Q41b
	ポスター					
12:30	昼休み					
	【銀 河】	【恒 星】	【太 陽】	【教 育】	【しし群】	【地上観】
13:30	R42a	N40a	M39a	Y01a	A27a	V01a
13:42	R43a	N41a	M40a	Y05a	A28a	V02a
13:54	R44a	N42a	M41a	Y06a	A29a	V04a
14:06	R45a	N43a	M42a	Y07a	A30a	V06a
14:18	R46a	N44a	M43a	Y12a	A31a	V07a
14:30	R47a	N45a	M44a	Y14a	A32a	V08a
14:42	R48a	N46a	M45a	Y16b - Y18b	A33a	V09a
14:54	R49a	N47a	M46a	Y19b - Y21b	A34a	V10a
15:06	R50a	N48b - N50b	M47a	Y22b - Y24b	A35a	V11b - V13b
15:18	R51a	N51b - N53b		Y25b - Y27b	A36b - A38b	V14b - V16b
15:30	総会 (G会場) (15:30~16:00 総会出席者確認)					
17:00	研究奨励賞受賞記念講演 (G会場)					
17:30 18:00	懇親会 (生協食堂)					

口頭セッション

3月30日(土)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	
09：30 09：42 09：54 10：06 10：18 10：30 10：42 10：54 11：06 11：18 11：30	【銀 河】 R53a 【銀河核】	【恒 星】 N54a N55a N56a N57a N58b - N60b N64a N65a N66a N67a N68a N69b, N70b	【星・惑星】 P01a P02a P03a P04a P05a P06a P07a P08a P09b - P11b P12b - P14b P15b, P16b	【天体力学】 K01a K02a K03b - K05b K06b 【太陽系】 L01a L02b,L04b,L05b L06b - L08b L09a L10a L11b - L13b	【情報処理】 X01a X02a X03a X06b - X08b X09b 【宇宙論】 U01b U02a U03a U05a U07a U08a	【地上観】 V17a V19a V20a V22a V23a V24a V25a V26b - V28b V29b - V31b V32b - V34b V35b, V36b	
	ポスター						
	昼休み						
	12：30	【銀河核】 S18a S19a S20a S21a S22a S23a S24a S25a S26a S27a S28a S29a		【星・惑星】 P17a P18a P19a P20a P21a P22a P23a P24a P25a	【太陽系】 L14a L15a L16a L17a L18a L19a L20a L21a	【宇宙論】 U09a U11a U12a U13a U14a U15a U16a	【地上観】 V37a V38a V39a V40a V42a V43a V44a V45a V47a V48a

【しし座流星群】 (24)

A05b, A06c, A07b, A08b, A09b,
A10b, A11b, A12b, A13b, A14b,
A15c, A16b, A17b, A18b, A20b,
A21b, A22b, A23b, A24b, A25b,
A26b, A36b, A37b, A38b

【天体力学】 (4)

K03b, K04b, K05b, K06b

【太陽系】 (10)

L02b, L03c, L04b, L05b, L06b,
L07b, L08b, L11b, L02b, L03b

【太陽】 (11)

M09b, M10b, M11b, M12b, M13b,
M14b, M15b, M16c, M26b, M27b,
M28b

【恒星】 (26)

N06b, N07b, N08c, N13c, N28b,
N29b, N34b, N35b, N36c, N37c,
N38c, N39c, N48b, N49b, N50b,
N51b, N52b, N53b, N58b, N59b,
N60b, N61c, N62c, N63c, N69b,
N70b

【星・惑星形成】 (9)

P09b, P10b, P11b, P12b, P13b,
P14b, P15b, P16b, P26c

【星間現象】 (14)

Q02c, Q09c, Q12b, Q13b, Q14b,
Q19c, Q25b, Q26b, Q27b, Q34c,
Q39b, Q40b, Q41b, Q42c

【銀河】 (16)

R08b, R09b, R10c, R11c, R12b,
R13b, R14b, R15b, R16b, R17b,
R18b, R19b, R39b, R40b, R41b,
R52c

【活動銀河核】 (10)

S08b, S09b, S10b, S11b, S12b,
S13b, S14b, S15b, S16b, S17b

【銀河団】 (5)

T02c, T11b, T12b, T13b, T14b

【宇宙論】 (4)

U01b, U04c, U06c, U10c

【地上観測機器】 (24)

V03c, V05c, V11b, V12b, V13b,
V14b, V15b, V16b, V18c, V21c,
V26b, V27b, V28b, V29b, V30b,
V31b, V32b, V33b, V34b, V35b,
V36b, V41c, V46c, V49c

【飛翔体観測機器】 (26)

W02c, W09b, W10b, W11b, W12b,
W13b, W14b, W16b, W17b, W18b,
W19b, W20b, W21b, W22c, W23c,
W24c, W25c, W26c, W33b, W34b,
W35b, W36b, W37b, W38b, W39c,
W40c

【情報処理】 (6)

X04c, X05c, X06b, X07b, X08b,
X09b

【天文教育・その他】 (21)

Y02c, Y03c, Y04c, Y08c, Y09c,
Y10c, Y11c, Y13c, Y15c, Y16b,
Y17b, Y18b, Y19b, Y20b, Y21b,
Y22b, Y23b, Y24b, Y25b, Y26b,
Y27b

【ジュニアセッション】 (19)

01, 02, 03, 05, 06,
07, 08, 09, 10, 11,
13, 15, 16, 17, 18,
19, 21, 22, 23

【展示コーナー】 (2)

(株) ニュートリノ
セイコーエプソン (株)

A. しし座流星群 (E 会場)

3 / 29 (金)		3 / 29 (金)	
09 : 30	A01a 「高校生天体観測ネットワーク」 Leonids 1998-2001 ○鈴木文二 (三郷工業技術高校)、小川 宏 (筑波大)、水野孝雄、佐藤祐介、菅谷多都子 (東京学芸大)、高校生天体観測ネットワーク運営委員会	10 : 30	A09b しし座流星雨 ○田部一志 (リブラ)、松本 孝 (市川市役所)、長谷川 均 (アステック)、志岐茂友 (理研)、橋本岳真 (日本流星研)、阿部新助 (宇宙研)、渡部潤一 (国立天文台)
09 : 42	A02a 日本における 2001 年しし座流星群 ○小川 宏、内山茂男 (日本流星研)	10 : 30	A10b マルチステーションによるしし座流星群の TV 観測 ○鈴木 悟、明保俊道、鈴木和博、吉田孝次 (日本流星研)
09 : 54	A03a しし座流星群流星痕同時観測キャンペーン 2001 の初期成果 (1) - 2001 年観測キャンペーンの概要 - ○戸田雅之 (日本流星研)、山本真行 (通信総研)、比嘉義裕 (日本流星研)	10 : 30	A11b 2001 年しし座流星群・光度ごとの HR 分布 ○志岐成友 (理研)、藤原英明 (東大)、渡部潤一 (国立天文台)
10 : 06	A04a しし座流星群流星痕同時観測キャンペーン 2001 の初期成果 (2) - 流星痕画像解析結果詳細 - ○山本真行 (通信総研)、戸田雅之、比嘉義裕 (日本流星研)	10 : 42	A12b ロボット望遠鏡等による射点領域の観測 ○小浜光洋、鳥居研一 (理研)、茶谷道夫、柴田博介 (宮崎大)、佐藤理江 (東工大理)、大西浩次 (長野高専)、柳沢俊史 (航空宇宙技研)
10 : 18	A05b しし座流星群流星痕同時観測キャンペーン 2001 の初期成果 (3) - 強拡大・高時間分解能観測による流星痕微細構造 - ○比嘉義裕、戸田雅之、前田幸治、鈴木 智 (日本流星研)、石塚洋一 (天体写真家)、山本真行 (通信総研)	10 : 42	A13b 輻射点決定用望遠レンズシステムによるしし座流星群のフラックス測定 ○鳥居研一、小浜光洋 (理研)、柳沢俊史 (航技研)、大西浩次 (長野高専)、佐藤理江 (東工大)
	A06c 長時間継続持続痕の多角的画像からの解析 戸田雅之、○岡本洋一 (昭和薬科大物理化学)、黒田 茂 (日本テキサスインスツルメンツ)、流星痕同時観測キャンペーン事務局	10 : 42	A14b 線像検出法によるしし座流星群の輻射点決定 ○柳沢俊史 (科学技術振興事業団)、大西浩次 (長野高専)、鳥居研一、小浜光洋 (理化学研)、中島 厚 (航空宇宙技術研)
10 : 18	A07b 流星群予報の一方法 ○古在由秀 (県立ぐんま天文台)		A15c ビデオによる 2001 年獅子座流星群 2 点観測結果報告 田島 徹、諸岡嘉男、○野中和明 (NASDA)、磯部 琇三 (国立天文台)
10 : 18	A08b 33 年後のしし座流星群は大出現するか? ○佐藤 勲 (KSK Alpa)		

3 / 29 (金)		3 / 29 (金)	
10 : 54	A16b	11 : 30	A23b
	しし座流星群の輻射点の観測 伊部敦子、内田良始、鹿児島孝、柏原倫子、川裾秀之、小西卓也、近藤恵美、○蕎麦田朋子、花房英一郎、伏見賢一、真鍋 恵、山尾郁美 (徳大総科)、上野智士、桶谷嘉一、清水達也、田辺恭彦、谷永真一、中村 齋、南部匡史、野原麻美、真鍋憲信 (徳大工)、有吉加恵、熊谷理恵、林麻衣子、森本幸恵 (徳大薬)、山本かおり (徳大医)		電波観測による 2001 年しし座流星群ピーク時の火球成分 ○大西浩次、石川寿之、服部 忍 (長野高専)、前川公男 (福井高専)、渡部潤一 (国立天文台)、中村卓司 (京大宙空電波)
10 : 54	A17b	11 : 30	A24b
	ビデオによる広視野監視システムの開発としし座流星群の観測 ○廿日出 勇、小松直也、稲田憲哉、羽野 博之、浦 武史 (宮崎大工)		しし座流星群ロングエコーマップ・プロジェクト ○柞山 快、松橋亜希子、石川寿之、大西浩次、服部 忍、西村 治、大矢健一、堀内征治 (長野高専)、前川公男 (福井高専)、小川 宏 (筑波大)、流星電波観測プロジェクト
10 : 54	A18b	11 : 30	A25b
	しし座流星群母天体のダストトレイル光学観測 ○石黒正見 (宇宙研)、臼井文彦 (東大総合文化)		電波観測によるしし座流星群の光度分布 ○鈴木俊昭、石川寿之、大西浩次、服部 忍、西村 治、堀内征治 (長野高専)、前川公男 (福井高専)
11 : 06	A19a	11 : 42	A26b
	FM 電波観測から求めた 2001 年しし座流星群の活動極大 ○吉田英人 (東大理)		7 素子ループアンテナによるしし座流星群の HRO 観測 ○石川寿之、鈴木俊昭、豊田桃子、大西浩次、服部 忍 (長野高専)、前川公男 (福井高専)
11 : 18	A20b		
	世界の流星電波観測によるしし座流星群の全容解明 ○小川 宏 (筑波大)、豊増伸治 (みさと天文台)、大西浩次 (長野高専)、朝日奈隆 (名城大附高校)、宮尾佳世 (旭丘高校)、網倉 忍 (筑波大)、前川公男 (福井高専)	13 : 30	A27a
11 : 18	A21b		広視野ビデオ観測による 2001 年しし座流星群ピーク時のフラックス ○渡部潤一、関口朋彦 (国立天文台)、志倉匡人 (東理大理)、内藤誠一郎 (東大理)、阿部新助 (宇宙研)
	流星電波観測プロジェクトによる国内の取り組み ○小川 宏 (筑波大)、流星電波観測プロジェクト (85 名)	13 : 42	A28a
11 : 18	A22b		微速度撮影法による動画で見るしし座流星群 ○矢動丸 泰、小澤友彦 (みさと天文台)、石川耕平、木下智史 (和歌山大)、渡部潤一 (国立天文台)
	144MHz 帯での流星電波観測 ○前川公男 (福井高専)、大西浩次、服部 忍 (長野高専)、上田昌良、岡本貞夫 (日本流星研)、新井雅裕 (JAMSAT)、中島 拓 (京都産大)、南部匡史 (徳島大アストロラブ)、大川一彦 (春日部工高)、中村卓司 (京大 RASC)	13 : 54	A29a
			テキサスインスツルメンツ製 SPD-CCD によるしし座流星群の撮影 ○岡本洋一 (昭和薬科大物理化学)、黒田 茂 (日本テキサスインスツルメンツ)、戸田雅之 (日本流星研)

A. しし座流星群

3 / 29 (金)		3 / 29 (金)	
14 : 06	A30a 2001 年しし座流星群の TV 同時観測による輻射点と速度 ○上田昌良、西本洋幸 (日本流星研)、豊増伸治 (みさと天文台)、川崎康寛、藤原康徳 (日本流星研)	15 : 06	A35a VPH グリズムによるしし座流星群の分光観測 ○渡辺真美、岡 恵子、清水賀代、小館香椎子 (日本女子大理)、海老塚昇 (理研)、川畑政巳 (日本ペイント)、家 正則 (国立天文台)
14 : 18	A31a しし座流星群の輻射点領域観測プロジェクト ○大西浩次、遠藤 誠 (長野高専)、柳沢俊史 (航空宇宙技術研)、鳥居研一、小浜光洋 (理研)、佐藤理江、河合誠之 (東工大)、廿日出 勇、茶谷道夫、柴田 博介 (宮崎大工)、西浦慎悟、宮田隆志、中田好一 (東大理センター木曾観測所)、土橋一仁 (学芸大)、渡部潤一、縣 秀彦 (国立天文台)、小池邦昭 (東理大理)、臼井文彦 (東大総文)、石黒正晃、柴楽正光、道上達広、菅原 章、上原晃齊、高野忠、吉川 真、阿部新助 (宇宙研)	15 : 18	A36b 紫外-可視高感度ハイビジョンカメラおよび対物分光器の開発 ○海老塚 昇 (理研)、阿部新助、矢野 創 (宇宙研)、春日敏測 (名大理)、杉本雅俊 (日流研)、藤野宣知 (東理大理)、渡部潤一 (国立天文台)
14 : 30	A32a 木曾シュミット望遠鏡によるしし座流星群輻射点領域での最微流星の検出 ○西浦慎悟、宮田隆志、三戸洋之、中田好一 (東大理センター木曾)、大西浩次 (長野高専)、渡部潤一 (国天)、柳沢俊史 (航空宇宙技術研)、鳥居研一、小浜光洋 (理研)、石黒正晃、阿部新助 (宇宙研)、土橋一仁 (学芸大)	15 : 18	A37b しし群における流星本体のスペクトル解析 ○春日敏測 (名大環境)、海老塚 昇 (理研)、阿部新助、矢野 創 (宇宙研)、杉本雅俊、藪 保男 (日流研)、藤野宣知 (東理大)、渡部潤一 (国立天文台)、小笠原隆亮、布施哲治 (国立天文台ハワイ)
14 : 42	A33a サブミリ波による「しし座流星群」起源物質の探索 ○中村良介、辻丸 詔 (NASDA/EORC)、伊藤哲也、山本 智 (東大理)	15 : 18	A38b 流星痕の高分解能可視、近赤外分光観測 ○鈴木 智 (日本流星研究会)
14 : 54	A34a しし群火球の紫外分光による彗星起源有機物探索と永續痕発光理論 ○阿部新助、矢野 創 (宇宙研)、海老塚昇 (理研)、春日敏測 (名大)、杉本雅俊 (日流研)、藤野宣知 (東理大)、渡部潤一 (国立天文台)、小笠原隆亮、布施哲治 (国立天文台ハワイ)		

K. 天体力学 (D 会場)

L. 太陽系 (D 会場)

3 / 30 (土)	09 : 30 K01a A Modified Hermite Scheme for Planetary Dynamics ○小久保英一郎 (国立天文台)、牧野淳一郎 (東大理) 09 : 42 K02a 新しい歳差公式 ○福島登志夫 (国立天文台) 09 : 54 K03b ケプラー運動に対する線形多段法の安定領域 ○山本一登 (総研大)、福島登志夫 (国立天文台) 09 : 54 K04b Motion around Triangular Lagrange Points Perturbed by Other Bodies ○荒木田英禎 (総研大)、福島登志夫 (国立天文台) 09 : 54 K05b 地球の時間層の非線型調和解析 ○原田 渉 (東大理)、福島登志夫 (国立天文台) 10 : 06 K06b 高離心率天体の運動理論に対する精度評価 ○眞崎良光 (総研大数物)、木下 宙 (国立天文台)	3 / 30 (土)	10 : 18 L01a 火星大気循環の季節変動と衰退期の赤道氷晶雲帯 ○中串孝志 (京大花山天文台)、赤羽徳英 (京大飛騨天文台)、岩崎恭輔 (京都学園大)、Stephen M. Larson (LPL, アリゾナ大) 10 : 30 L02b マリナー 10 号の測光観測データに基づく金星大気煙霧粒子の検出及びその南北分布 ○佐藤靖彦、川端 潔、山本直孝 (東理大理)、佐藤毅彦 (熊大教育) L03c 金星煙霧粒子の水平分布が示す緯度依存性と惑星面偏光度分布 ○川端 潔、佐藤靖彦、山本直孝 (東理大理)、佐藤毅彦 (熊大教育)、赤羽徳英 (京大理) 10 : 30 L04b 火星極冠の積雪量の観測と理論的予測との比較 ○鳴海泰典 (九州東海大工) 10 : 30 L05b 赤外線画像解析による木星上層大気構造の推定 ○佐藤毅彦 (熊大教育)、J.E.P. Connerney (NASA ゴダード) 10 : 42 L06b 地上観測による「火星・イオンの尾」の検出 ○坂井義人 (小川天文台)、早川 基 (宇宙研)、富田良雄 (京大理) 10 : 42 L07b C/2000WM1 (LINEAR) 彗星の継続的撮像観測がとらえた近日点通過前における変化 ○古荘玲子 (科学技術振興事業団)、福島英雄、渡部潤一 (国立天文台)、河北秀世、浜根寿彦 (県立ぐんま天文台) 10 : 42 L08b ぐんま天文台 65cm 望遠鏡による C/2000WM1 (LINEAR) 彗星の低分散分光モニタリング観測 ○河北秀世、浜根寿彦、衣笠健三 (県立ぐんま天文台)、山室智康、武山芸英 ((株) ジェネシア)
------------	--	------------	--

3 / 30 (土)		3 / 30 (土)	
10 : 54	L09a	14 : 06	L17a
	黄道光輻射の中間赤外線帯スペクトルに基づく惑星間塵のサイズ分布と組成の推定 ○大坪貴文、尾中 敬、石原大助、田辺俊彦、K.-W. Chan (東大理天文)、山村一誠 (宇宙研)、T. L. Roellig (NASA Ames)		地球接近小惑星と微小ベルト小惑星のサイズ分布から見た相互関係 ○中村 士 (国立天文台)、吉田二美 (国立天文台/神戸大自然)
11 : 06	L10a	14 : 18	L18a
	ESO3.6m 望遠鏡による MUSES-C ミッションターゲット: 近地球型小惑星 1998 SF ₃₆ の中間赤外線熱観測 ○関口朋彦 (国立天文台)、安部正真、長谷川 直 (宇宙研)、Hermann Boehnhardt、Olivier Hainaut (ESO)		重ね合わせ法を用いた小惑星の自動検出 ○柳沢俊史 (科学技術振興事業団)、中島 厚 (航空宇宙技術研)
11 : 18	L11b	14 : 30	L19a
	Sub-km ベルト小惑星の空間およびサイズ分布 ○吉田二美 (国立天文台/神戸大自然)、中村 士、渡部潤一 (国立天文台)、木下大輔 (総研大)、布施哲治 (ハワイ観測所)、Suprime - Cam グループ		すばる望遠鏡による EKBO サーベイ ○山本直孝 (東理大理)、木下大輔 (総研大/ESO)、布施哲治 (国立天文台ハワイ)、渡部潤一 (国立天文台)、川端 潔 (東理大理)
11 : 18	L12b	14 : 42	L20a
	流星電波観測とビデオ観測との同定 ○金高美咲、小川 宏 (筑波大自然)、網倉 忍 (筑波大情報)		Analysis of the Observed OH Prompt Emission Lines of (1,0) Vibration-Rotation Band in Comet Lee ○K. S. Krishna Swamy、J. Watanabe (国立天文台)
11 : 18	L13b	14 : 54	L21a
	流星電波方向決定システムによるふたご座流星群観測 ○豊田桃子、石川寿之、服部 忍、大西浩次 (長野高専)、前川公男 (福井高専)、大久保 忠 (FCZ 研)		C/2001A2 (LINEAR) 彗星におけるアンモニアのスピニング温度について ○河北秀世 (県立ぐんま天文台)、渡部潤一、布施哲治 (国立天文台)、阿部新助 (宇宙研)
13 : 30	L14a		
	衛星の影響を考慮した天王星情円リングのN体数値計算 ○台坂 博、牧野淳一郎 (東大理)		
13 : 42	L15a		
	複数の衛星を持つ衛星系の形成 ○武田隆顕、井田 茂 (東京工業大)		
13 : 54	L16a		
	不安定な小惑星 ○古在由秀 (県立ぐんま天文台)、中井 宏 (国立天文台)		

M. 太陽 (C 会場)

3 / 28 (木)		3 / 28 (木)	
10 : 00	M01a Chromosphere Structure Obtained from Flash Spectra at the Total Solar Eclipse ○ Mitsugu Makita (Osaka Gakuin Jr. College)	11 : 36	M09b SOHO CDS で見た太陽面上のシグモイド構造 ○堀 久仁子、Ron Moore、David Falconer (NASA MSFC/NSSTC)、秋岡真樹 (通総研平磯)
10 : 12	M02a 2001 年 6 月の皆既日食におけるフラッシュスペクトルの直線偏光観測 ○西村美恵、平山 淳 (明星大)	11 : 36	M10b 太陽フレア観測用高速 H α カメラによるフレア観測 ○花岡庸一郎、フレア望遠鏡グループ (国立天文台)
10 : 24	M03a 超高速度ビデオカメラによる太陽スペクトル撮像の試み ○當村一朗 (大阪府立高専)、井田民男 (近畿大理工)、上野 悟、北井礼三郎 (京大理飛騨天文台)	11 : 36	M11b 局所相関追尾法(LCTM)の検証方法 ○高津裕通、D.H.Brooks、黒河宏企 (京大花山天文台)、北井礼三郎 (京大飛騨天文台)
10 : 36	M04a Studies on the Evolution of Active Regions with TRACE White Light Images ○石井貴子、黒河宏企 (京大理天文台)	11 : 48	M12b 擬 2 次元流体シミュレーションによる太陽・恒星フレアの再現 ○大橋宏幸、磯部洋明、佐藤和久、南野公彦 (京大理)、酒井 圭 (東工大理)、柴田一成 (京大理)、他ネットラボラトリーチーム
10 : 48	M05a 2001 年に太陽フレア望遠鏡で観測されたフレアの解析 ○萩野正興 (明星大情報)、桜井 隆 (国立天文台)	11 : 48	M13b 3-dimensional Evolution of an Emerging Flux Tube in the Sun ○真柄哲也 (Montana State Univ.)、Dana Longcope (Montana State Univ.)
11 : 00	M06a フレアリボン内の微細構造で探るエネルギー解放機構 ○浅井 歩、黒河宏企、石井貴子、北井礼三郎、柴田一成 (京大理)、増田 智 (名大STE研)、横山央明、下条圭美 (国立天文台野辺山)、矢治健太郎 (かわべ天文公園)	11 : 48	M14b コロナ中磁気ループ振動の 3 次元 MHD 数値シミュレーション(II) ○宮腰剛広 (総研大)、横山央明、下条圭美 (国立天文台)
11 : 12	M07a 史上最小の two-ribbon flare ○坂尻拓真、山本哲也、塩田大幸、磯部洋明、秋山幸子、北井礼三郎、上野悟、柴田一成 (京大理附属天文台)	12 : 00	M15b 浮上磁場の 3 次元モデル：初期の摂動と磁気シートの影響について ○野澤 恵 (茨大理)、柴田一成 (京大花山天文台)
11 : 24	M08a 2000 年 11 月 25 日フレアにおける硬 X 線源一「C 型」フレアか？ ○高崎宏之、清原淳子、北井礼三郎 (京大理附属天文台)、横山央明、中島 弘 (国立天文台野辺山)、増田 智 (名大STE研)、小杉健郎 (宇宙研)、佐藤 淳 (Montana State Univ.)		M16c 捻れた浮上磁束管相互作用の 3 次元数値実験 ○布施谷洋帆 (千葉大自然)、松元亮治 (千葉大理)

3 / 28 (木)	3 / 28 (木)
14 : 00 M17a 大フレア発生前に発見された光球・彩層予熱現象について ○黒河宏企、石井貴子、D. H. Brooks、P.F. Chen (京大理)、T. Wang (Max-Planck Institute of Aeronomy)、A. Title (Stanford Univ.)	15 : 36 M25a Solar-B 搭載 X 線望遠鏡 (XRT) 用解析フィルターの設計 ○下条圭美、鹿野良平 (国立天文台)、Ed DeLuca (SAO)、他 Solar-B/XRT 開発チーム
14 : 12 M18a 太陽プラズマ噴出の方向を決めるもの ○森本太郎、浅井 歩、磯部洋明、黒河 宏企、陳 鵬飛 (京大花山天文台)	15 : 48 M26b GEOTAIL 衛星による太陽フレア時の γ 線・EUV 観測 ○竹井康博、寺沢敏夫、中村正人 (東大理)、向井利典、吉川一朗、早川 基、松岡彩子 (宇宙研)、高崎宏之、柴田一成 (京大花山天文台)
14 : 24 M19a 電波と硬 X 線強度の脈動現象と磁場構造の関係 ○神尾 精、浅井 歩、磯部洋明 (京大理)、下条圭美、柴崎清登 (国立天文台野辺山)	15 : 48 M27b 1991 - 2001 年において「ようこう」衛星 GRS が観測した全ガンマ線フレアの統計的解析 ○松本 縁、古徳純一、牧島一夫 (東大理)、小杉健郎 (宇宙研)、吉森正人 (立教大理)、他「ようこう」チーム
14 : 36 M20a γ 線フレアからの太陽粒子線中の陽子欠損 ○大木健一郎 (国立天文台)	15 : 48 M28b 太陽フレア非熱的放射べき指数の時間空間的ふるまいの硬 X 線と電波との比較 ○清原淳子、高崎宏之、成影典之 (京大理)、増田 智 (名大 STE 研)、中島弘、横山央明 (国立天文台野辺山)
14 : 48 M21a ループトップからのガンマ線の検出 - 1998 年 8 月 18 日フレア - ○松本 縁、古徳純一、牧島一夫 (東大理)、他「ようこう」チーム	
15 : 00 M22a 非熱的マイクロ波ジェットを観測 ○中島 弘、横山央明 (国立天文台野辺山)	3 / 29 (金)
15 : 12 M23a 2001 年 4 月 10 日に起きた X2 クラスフレアの硬 X 線放射構造(2) ○矢治健太郎 (かわべ天文公園)、増田 智 (名大 STE 研)、浅井 歩、柴田一成、黒河宏企 (京大理天文台)、横山央明、下条圭美 (国立天文台野辺山)	09 : 30 M29a L D E フレアにおけるエネルギーとプラズマの供給 ○柴崎清登 (国立天文台野辺山)
15 : 24 M24a 気球による硬 X 線スペクトル観測 ○小林 研 (東大理)、常田佐久、田村友範、熊谷和芳 (国立天文台)、勝川行雄、久保雅仁、阪本康史 (東大理)、斎藤芳隆、太田茂雄、山上隆正 (宇宙研)、森 国城 (クリアパルス)	09 : 42 M30a Basic Principles and Examples of the Large Solar Flare Modeling ○Somov, Boris V.、小杉健郎、坂尾太郎 (宇宙研)
	09 : 54 M31a 太陽風はなぜ吹くか : 蒸発流束と wind 中での加熱 ○平山 淳 (明星大情報)

3 / 29 (金)		3 / 29 (金)	
10 : 06	M32a 太陽活動極大期の太陽風構造— Ulysses との比較 ○藤木謙一、大見智亮、横辺篤史、小 島正宜 (名大 STE 研)	13 : 30	M39a 混合 CME と惑星間擾乱の関連性につい て 2 : MHD シミュレーションによる検証 ○水野陽介、秋山幸子、竹内智彦、 柴田一成、成影典之 (京大理)、桑原 譲二、木暮大宣、富岡 史 (東京理科 大理)、川野羊三 (名大理)、他ネット ラボラトリーチーム
10 : 18	M33a 四重極磁場中で起こる三次元磁気リコ ネクション II ○廣瀬重信、内田 豊 (東京理科大)	13 : 42	M40a ループ型 CME の 3 次元シミュレー ションモデルによる解明 II ○桑原譲二、Robert Cameron、田中 智宏、内田 豊 (東京理科大)
10 : 30	M34a リコネクションジェットの衝突に伴う レイリー・テイラー不安定性 ○田沼俊一、柴田一成 (京大理)、 横山央明 (国立天文台)、工藤哲洋 (Western Ontario 大)	13 : 54	M41a 惑星間空間擾乱の伝搬速度について ○亘 慎一 (通信総研)、渡邊 亮 (茨城大理)
10 : 42	M35a 相対論的磁気リコネクションによる高 エネルギー粒子加速 ○銭谷誠司、星野真弘 (東大理)	14 : 06	M42a Solar Cycle Variation of CME Proper ties ○八代誠司、Nat Gopalswamy、 Grzegorz Michalek (CUA)
10 : 54	M36a 太陽コロナ磁場における磁気ヘリシ ティと自由エネルギーの供給 ○草野完也、真栄城朝弘 (広島大先 端)、横山央明、桜井 隆 (国立天文 台)	14 : 18	M43a CME 源と CH は 2004 年になぜ安定 3 双極子構造になるか ? ○斎藤尚生 (東北大 OB)
11 : 06	M37a 2000 年 3 月 3 日に多波長同時観測さ れた Moreton wave について ○成影典之 (京大理)、秋山幸子 (NRL)、八代誠司 (CUA)、北井礼 三郎、黒河宏企、柴田一成 (京大 附属天文台)	14 : 30	M44a Loop type CME とその発生機構 ○鈴木 勲、内田 豊、森田 諭、田中 智宏 (東京理科大)
11 : 18	M38a EVIDENCE OF EIT AND MORETON WAVES IN NUMERICAL SIMULA TIONS ○ P. F. Chen (京大理、南京大)、S. T. Wu (Univ. of Alabama)、K. Shibata (京大理)、and C. Fang (南京大)	14 : 42	M45a Enhancement in low-energy proton flux associated with diffusive accelera tion by interplanetary shock waves ○田 光江 (通総研)、吉田龍生 (茨城 大理)、山下和之 (千葉大総メセ)
		14 : 54	M46a コロナを伝える波動の分光観測 ○桜井 隆、一本 潔 (国立天文台)、 K. P. Raju, J. Singh (IIAP)
		15 : 06	M47a 上空コロナの加熱度が高い領域の光球 面磁場の磁気的特徴 ○久保雅仁 (東大理)、清水敏文、常 田佐久 (国立天文台)、B. W. Lites (HAO/NCAR)、T. Tarbell (LMSAL)

N. 恒星 (B 会場)

3 / 28 (木)		3 / 28 (木)	
10:00	N01a	ブレアデス星団の近赤外・可視域5色による褐色矮星探査 ○長嶋千恵、永山貴宏、中島 康、長田哲也、佐藤修二 (名大理)、中屋秀彦 (国立天文台ハワイ)、杉谷光司 (名古屋市立大)、田村元秀 (国立天文台)、Paul Dobbie (Univ. of Leicester)	N08c HIDES とヨードセルを用いたプロシオンにおける太陽型振動検出の試み ○神戸栄治 (防衛大地球)、佐藤文衛 (東大理)、竹田洋一 (駒沢大)、安藤裕康、泉浦秀行、渡辺悦二、清水康広、岡田則夫、増田盛治、野口邦男、青木和光 (国立天文台)、和田節子 (電通大)
10:12	N02a	褐色矮星の大気構造とその観測特性 X. スペクトル分類の物理的基礎 ○辻 隆 (東大理 IOA)	11:12 N09a 球状星団における恒星内部の物質混合による水平分枝の形状 II ○須田拓馬、藤本正行 (北大理)
10:24	N03a	Near Infrared Adaptive Optics Spectroscopy of Binary Brown Dwarf ○後藤美和 (国立天文台ハワイ/ハワイ大)、Alan Tokunaga (ハワイ大)、寺田 宏、小林尚人 (国立天文台ハワイ)、高見英樹、高遠徳尚 (国立天文台)、Walfgang Gaessler (国立天文台ハワイ)、早野 裕、鎌田由紀子 (国立天文台)、神澤富雄 (国立天文台ハワイ)、David Saint-Jacques (モントリオール大)、家 正則 (国立天文台)、Dan Potter、Michael Cushing (ハワイ大)	11:24 N10a Nucleosynthesis of light elements in 8-10M _☉ AGB stars ○岩本信之 (国立天文台)
10:36	N04a	金属欠乏の巨星と矮星における硫黄組成の振る舞い ○比田井昌英 (東海大総教セ)、竹田洋一 (駒沢大)、佐藤 静 (東海大工)、本田敏志 (国立天文台)、定金晃三 (大教大)、川野元 聡 (東大理)、W. L. W. Sargent, L. Lu, T. A. Barlow (Caltech)	11:36 N11a IRAS22272+5435 の中間赤外高空間分解能撮像/分光観測 ○宮田隆志、酒向重行、田窪信也、尾中 敬 (東大理)、片ざ宏一 (宇宙研)、岡本美子 (北里大)、山下卓也 (国立天文台)、すばる望遠鏡グループ
10:48	N05a	惑星を持つ恒星の表面組成: すばる H D S データの解析 ○竹田洋一 (駒沢大)、神戸栄治 (防衛大)、佐藤文衛 (東大理)、青木和光 (国立天文台)、並びに「惑星を持つ恒星の分光学的研究プロジェクト」グループ	11:48 N12a 低温 IRAS 源に対する SiO メーザー輝線探査 ○中島淳一 (総研大/野辺山)、出口修至 (国天野辺山)
11:00	N06b	惑星を持つ恒星の金属量 ○大久保美智子、定金晃三 (大教大)、惑星を持つ恒星研究プロジェクトグループ	N13c 大小マゼラン星雲中の AGB 変光星探査 ○板 由房、中田好一、田辺俊彦、松永典之 (東大理)、中島 康、長嶋千恵、永山貴宏 (名大理 Z 研)
11:00	N07b	The high velocity flow suggested by the broad wing components of the H α in the selected Planetary Nebulae ○大塚雅昭、田村真一 (東北大理)、田実晃人 (国立天文台)	14:00 N14a 木曾 KONIC によるミラ型変光星の観測 ○中田好一、征矢野隆夫、樽沢賢一、三戸洋之、松山仰介 (東大木曾)、柳沢顕史 (国立天文台岡山)、藤井高宏 (国立天文台/鹿児島大)
			14:12 N15a 相対 VLBI 観測によるミラ型変光星の年周視差測定 ○倉山智春 (東大理)、笹尾哲夫 (国立天文台)

3 / 28 (木)		3 / 29 (金)	
14 : 24	N16a 文献比較から得られた超長周期変光星候補天体とその特性 ○藤原智子 (DANOF Observatoire de Paris、京産大理)、三好 蕃 (京産大理)	09 : 54	N26a 矮新星 WZ Sge 2001 年スーパーアウトバースト ○石岡涼子、加藤太一、植村 誠 (京大理)、他 VSNET Collaboration team
14 : 36	N17a Cyg X-1 でも見つかった Log-Normal 分布—GRB のセントラルエンジンと関連? ○根来 均 (理化学研)、嶺重 慎 (京大基研)	10 : 06	N27a 新たな連星進化経路の存在を示唆する SU UMa 型矮新星の発見 ○植村誠、加藤太一、石岡涼子 (京大理)、山岡 均、P. Schmeer, T. Krajci, D. R. Starkey, 鳥居研一、河合誠之、浦田裕次、小浜光洋、吉田篤正、綾仁一哉、川端哲也、田辺健茲、松本 桂、清田誠一郎、J. Pietz, T. Vanmunster, A. Oksanen, A. Giambersio (VSNET Collaboration team)
14 : 48	N18a Synchrotron dressed Compton in Gamma-ray bursts ○井岡邦仁 (阪大理)	10 : 18	N28b 矮新星 WZ Sge の 2001 年スーパーアウトバーストの可視光分光モニター観測 ○野上大作 (京大理附属天文台)、飯島孝 (アジアゴ天文台)
15 : 00	N19a Fireball 残滓によるガンマ線バーストの点火 ○浅野勝見、高原文郎 (阪大理)	10 : 18	N29b 短周期激変星 HT Cam の短時間アウトバースト ○石岡涼子、加藤太一、植村 誠 (京大理)、鳥居研一 (理研)、田辺健茲 (岡山理科大)、伊藤 弘、森川孝一、A. Oksanen, G. W. Billings (VSNET Collaboration team)
15 : 12	N20a ガンマ線バーストのニュートリノ冷却降着円盤モデル 郡 和範、○嶺重 慎 (京大基研)	10 : 30	N30a さそり座 U 星の白色矮星は高速で自転している? ○加藤万里子 (慶応大)、蜂巢 泉 (東大院総合)
15 : 24	N21a ガンマ線バーストの supranova モデルにおけるバルサー風活動の影響: X 線鉄輝線、高エネルギーガンマ線、超高エネルギー宇宙線、高エネルギーニュートリノ ○井上 進 (国立天文台)、Dafne Guetta, Franco Pacini (Arcetri Observatory)	10 : 42	N31a 回帰型新星 CI Aquilae 2000 年爆発時の光度曲線の再解析と Ia 型超新星の可能性 ○蜂巢 泉 (東大院総合)、加藤万里子 (慶応大)、Bradley E. Schaefer (U. of Texas)
15 : 36	N22a ガンマ線バーストで探る初期宇宙 ○米徳大輔 (宇宙研)、村上敏夫、井澤寿予 (金沢大)	10 : 54	N32a ブラックホール降着円盤の大局的 3 次元 MHD 数値実験 ○町田真美 (千葉大自然)、松元亮治 (千葉大理)
15 : 48	N23a 重力波に対する近星点移動の効果を利用した連星の合計質量の新しい推定法の提案 ○瀬戸直樹 (阪大理)	11 : 06	N33a 磁気降着円盤における電流—ガス密度比の時間変動 ○蒔田 誠、川口俊宏 (京大理)、嶺重 慎 (京大基研)、町田真美、松元亮治 (千葉大理)
3 / 29 (金)			
09 : 30	N24a や座 WZ 型矮新星の早期ハンプについて ○尾崎洋二 (長崎大教育)、Friedrich Meyer (Max-Planck-I. Astrophysik)		
09 : 42	N25a WZ Sge 型矮新星の “early superhumps” の解釈 ○加藤太一 (京大理)		

3 / 29 (金)		3 / 29 (金)	
11 : 18	N34b CIP 法を用いた一般相対論的な MHD コード II ○萬本忠宏、柳橋 歩 (千葉大理)	14 : 18	N44a Bondi 流再解析：流れを特徴づける 3 つのパラメーター ○早崎公威 (北大理)、兼古 昇 (北大理)、森田一彦 (道薬科大)
11 : 18	N35b CIP-MOCCT 法による中性子星磁気圏への降着流の 2 次元数値実験 ○加藤成晃 (千葉大自然)、工藤哲洋 (Univ. of Western Ontario)、林 満 (総研大)、松元亮治 (千葉大理)	14 : 30	N45a 超新星の特性と母銀河中心からの距離の相関 II：実距離と銀河中央部 ○内藤博之、山岡 均 (九大理)
	N36c 熱的輻射の駆動降着円盤風 ○福江 純 (大阪教育大教育)	14 : 42	N46a 超新星ニュートリノ風における r プロセスと宇宙年齢の下限値 ○和南城伸也、玉村雅也、伊藤直紀 (上智大理工)、野澤 智 (城西大)
	N37c 光圧収束ジェットの収束度と歳差 ○折原志穂、福江 純 (大阪教育大教育)	15 : 54	N47a 宇宙初期の超新星爆発時におけるダスト形成 II ○野沢貴也、小笹隆司 (北大理)、梅田秀之、野本憲一 (東大理)
	N38c 原始星フレアの 2.5 次元 MHD 数値実験 ○中村賢仁 (松江高専)、松元亮治 (千葉大理)	15 : 06	N48b Massive Star における元素合成と超新星爆発起源プレソーラーグレインへの応用 ○吉田 敬、橋本正章 (九大理)
	N39c 相対論的円盤での非軸対称捕獲 g モード振動の共回転共鳴による励起 ○加藤正二 (奈良産大情報)	15 : 06	N49b 超新星爆発時に形成される降着円盤内における p 過程元素合成 ○藤本信一郎 (熊本電波高専)、橋本正章、小池 修、吉田 敬 (九大理)、松葉龍一、荒井賢三 (熊大理)
13 : 30	N40a Slim Disk は超臨界降着流を正しく表現できるか？ ○大須賀 健、嶺重 慎 (京大基研)、梅村雅之 (筑波大計算物理)、森 正夫 (専修大法)	15 : 06	N50b 超新星の光度曲線における相対論的膨張の効果 ○岩本弘一 (日大理工)
13 : 42	N41a 近接連星系における降着円盤の輻射冷却を伴った 2 次元数値流体シミュレーション ○佐藤潤一、澤田恵介、大西直文、二間瀬敏史 (東北大理)	15 : 18	N51b No Supernova 1950C ○山岡 均 (九大理)
13 : 54	N42a 光学的に厚い降着円盤内縁の時間変化 ○渡会兼也 (京大理)、嶺重 慎 (京大基研)	15 : 18	N52b 原始中性子星ニュートリノとニュートリノ振動 ○木暮大宣、富岡 史、鈴木英之 (東理大理工)
14 : 06	N43a Interaction between the Decretion Disk and the Neutron Star in Be/X-Ray Binaries (II) Misaligned Systems ○岡崎敦男 (北海学園大工)、Matthew Bate (Exeter 大)、Gordon Ogilvie (IoA)、Jim Pringle (IoA)	15 : 18	N53b Adaptive Mesh Refinement 法による超新星爆発内部での Rayleigh-Taylor 不安定性のシミュレーション II ○野呂文人、小川智也、宮路茂樹 (千葉大自然)、山下和之 (千葉大総合メセ)、田 光江 (通総研)

3 / 30 (土)		3 / 30 (土)	
09:30	N54a 相対論的電磁プラズマ力学 (Force-Free 近似) によるパルサーダイナミックス ○浅野栄治 (東理大理)、内田俊郎 (明治大)、内田 豊、廣瀬重信、鈴木幸朗 (東理大理)	10:30	N64a X線連星 Cir X-1 のX線強度の長期変動 ○浅井和美 (神奈川大学工/宇宙研)、堂谷忠靖 (宇宙研)
09:42	N55a 白色矮星の構造インバージョン ○高田将郎 (東大理)、M. H. Montgomery (Cambridge, UK)	10:42	N65a マイクロクエーサー GRS1915+105 「史上最大」の多波長同時観測 ○上田佳宏 (宇宙研)、山岡和貴 (理研)、C. Sánchez-Fernández (LAEFF-INTA)、V. Dhawan (NRAO)、S. Chaty (Open Univ)、J. E. Grove (NRL)、河野孝太郎 (東大天文)、海老沢研、小谷太郎 (GSFC/NASA)、井上 一 (宇宙研)、2000 April 多波長キャンペーンチーム
09:54	N56a 回転する中性子星の最大質量 ○鷹野重之、江里口良治 (東大総合文化)	10:54	N66a Chandra衛星による PSR1706-44 の観測 ○櫛田淳子 (東工大理)、谷森 達、窪 秀利、植野 優 (京大理)、他 CANGAROO チーム (茨城大理、茨城医療大、宇宙研、大阪市大理、神奈川大工、甲南大理工、国立天文台、信州大工、東海大理、東大宇宙線研、名大STE研、山形大理、山梨学院大、理研、アデレード大、オーストラリア国立大)
10:06	N57a The endpoint of the rp-process on accreting neutron stars ○小池 修、黒水玲子、橋本正章 (九大理)、藤本信一郎 (熊本電波高専)、吉田 敬 (九大理)	11:06	N67a マゼラン星雲中のX線パルサー PSR B0540-69 の「あすか」観測 ○長瀬文昭 (宇宙研)、平山昌治 (California 大 Santa Cruz 校)、遠藤貴雄 (三菱電機)、河合誠之 (東工大理)、伊藤真之 (神戸大発達科学)
10:18	N58b 連星中性子星の進化に対する状態方程式の影響 ○白井文彦、江里口良治 (東大総合文化)	11:18	N68a 球状星団 M4 と NGC 6397 のあすかによる観測 ○石川 輝、篠崎慶亮、石田 学、山崎典子、石崎欣尚、大橋隆哉 (都立大)、牧島一夫 (東大理/理研)、根来 均 (理研)
10:18	N59b 超強磁場中での偏光を考慮した photon splitting のサイクロトロン線への影響 ○西村 治 (長野高専)	11:30	N69b Chandra HETGS による SS 433 の観測 ○並木雅章 (理研)、河合誠之 (東工大理/理研)、小谷太郎 (NASA/GSFC)
10:18	N60b 近接連星系における伴星の表面層のガスの運動 ○岡 和孝、長江滝三 (神戸大自然)、松田卓也 (神戸大理)、藤原秀和 (日本IBM)、H. Boffin (ベルギー王立天文台)	11:30	N70b 「すばる」による中高年齢パルサーの観測 ○河合誠之 (東工大理/理研)、S. Zharkov (UNAM)、Yu. Shibarov, A. Koptsevich (Ioffe Inst.)、V. Komarova, V. Sokolov (SAO/RAS)、浦田裕次 (東理大理/理研)、柴田晋平 (山形大理)、柴崎徳明 (立教大理)
	N61c ポリトロープ気体の熱力学的保存量と熱力学関係 ○早崎公威、兼古 昇 (北大理)、森田一彦 (道薬科大)		
	N62c 直接モンテカルロ法による星風降着流の数値計算 ○大杉幸督 (神戸大自然)、松田卓也 (神戸大理)		
	N63c パルサー磁気圏における一般相対論的電磁気学と粒子加速 ○坂井伸之 (山形大教育)、柴田晋平 (山形大理)		

P. 星・惑星形成 (C 会場)

3 / 30 (土)		3 / 30 (土)	
09:30	P01a Alfvén 波が伝播するフィラメント状分子雲の分裂・収縮 ○杉本香葉子 (名大理)、福田尚也 (千葉大理)、花輪知幸 (名大理)	11:06	P10b UH88/QUIRC によるオリオン分子雲-2/3 の近赤外線撮像観測 ○辻本匡弘、小山勝二 (京大理)、小林尚人、後藤美和 (国立天文台)、坪井陽子 (ペンシルバニア州立大)
09:42	P02a 非軸対称揺らぎにおける星間磁気雲の収縮過程 ○町田正博 (北大理)、富阪幸治 (国立天文台)、松本倫明 (法政大人間環境)	11:06	P11b Cep OB3 領域での SIRIUS/UH88 による近赤外 embedded cluster の検出、& CISCO/SUBARU による cluster の mass function の検討 ○森野潤一、林 左絵子、田村元秀、山下卓也 (国立天文台)、中島 康、永山貴宏、長島千恵、長田哲也、佐藤修二 (名大理)、杉谷光司 (名市大)
09:54	P03a NMA による遠方大質量星形成領域の高密度分子雲コアの詳細観測 2 ○齋藤弘雄、小出直久、森口義明、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)	11:18	P12b へびつかい座-おおかみ座領域における OB 型星影響下の分子雲研究 豊田秋一郎 (名大理)、立原研吾 (MPE)、○大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)
10:06	P04a チャンドラ衛星による星生成領域 Sgr B2 分子雲の X 線観測 ○高木慎一郎、村上弘志、小山勝二 (京大理)	11:18	P13b 大質量原始星 IRAS 22134+5834 に付随する分子流と分子雲コア ○土橋一仁、上原 隼 (東京学芸大)
10:18	P05a 原始惑星系円盤の散逸に伴う地球型惑星集積 ○小南淳子、井田 茂 (東工大地惑)	11:18	P14b 中質量星形成領域-NGC 2264 IRS1 近傍の構造 ○仲野 誠 (大分大教育)、杉谷光司 (名市大)、小倉勝男 (国学院大)、森田耕一郎 (NRO)
10:30	P06a 原始惑星系円盤における輻射輸送と分子組成 ○相川祐理 (神戸大学理)、G. J. van Zadelhoff、E. F. van Dishoeck (Leiden University)	11:30	P15b コンドリュールは本当に形成されるか?: 衝撃波加熱モデルにおける蒸発と動圧の効果 ○三浦 均 (筑波大数物)、中本泰史、須佐 元 (筑波大計物セ)
10:42	P07a 大質量星からの遠紫外線放射影響下における原始惑星系円盤 ○野村英子、犬塚修一郎 (京大理)	11:30	P16b 褐色矮星の最小質量について ○中本泰史 (筑波大計物セ)、大越智幸司 (ITJ Inc.)
10:54	P08a 弱電離降着円盤において磁気応力による角運動量輸送が可能となる条件 ○佐野孝好、James M. Stone (メリーランド大)		
11:06	P09b Chandra/ASCA 衛星による Rho Oph 分子雲内の X-ray-brightest T-Tauri 型星の観測 ○今西健介、辻本匡弘、小山勝二 (京大理)		

3 / 30 (土)		3 / 30 (土)			
13 : 30	P17a	南アフリカ 1.4m 近赤外線サーベイによる大マゼラン星雲の前主系列星候補の検出 ○中島 康、長田哲也、永山貴宏、長嶋千恵、加藤大輔、栗田光樹夫、佐藤修二 (名大理)、田辺俊彦、板 由房、中田好一 (東大理)、田村元秀、中屋秀彦 (国立天文台)、杉谷光司 (名市大)	14 : 54	P24a	CIAO と SIRIUS による MWC137 に付随するクラスターの観測 ○田村元秀、周藤浩士、林 左絵子、村川幸史、高見英樹、高遠徳尚 (国立天文台)、中島 康、長嶋千恵、永山貴宏、長田哲也、佐藤修二 (名大)、深川美里、田辺俊彦 (東大)、伊藤洋一 (神大)、大朝由美子 (NASDA)、杉谷光司 (名市大)、他 CIAO/AO/SIRIUS 各チーム
13 : 42	P18a	CIAO による Herbig Ae 型星のディスク撮像 ○深川美里 (東大)、田村元秀、周藤浩士、林 左絵子、村川幸史、高見英樹、高遠徳尚 (国立天文台)、伊藤洋一 (神大)、大朝由美子 (NASDA)、直井隆浩 (東大)	15 : 06	P25a	G 型巨星における系外惑星サーベイ ○佐藤文衛 (東大理)、神戸栄治 (防衛大地)、竹田洋一 (駒沢大)、安藤裕康 (国立天文台ハワイ)、泉浦秀行、増田盛治 (国立天文台岡山)
13 : 54	P19a	Mass Accretion Rate of Super-Massive First Star and the Upper Mass Limit ○西合一矢、須佐 元 (筑波大学計算物理学研究センター)		P26c	岡山 HIDES 用ヨードセルによる長期的な視線速度測定精度 ○佐藤文衛 (東大理)、神戸栄治 (防衛大地)、竹田洋一 (駒沢大)、安藤裕康 (国立天文台ハワイ)、泉浦秀行、清水康広、増田盛治、渡辺悦二 (国立天文台岡山)
14 : 06	P20a	始原星の質量降着進化 (その 2 降着率の違いの効果) ○大向一行 (国立天文台)、F.Palla (アルチエトリ天文台)			
14 : 18	P21a	Class 0 天体と Class I 天体は何が違うか?: 2 次元輻射平衡モデルを用いた考察 ○中里 剛、中本泰史 (筑波大物理)			
14 : 30	P22a	原始星フレアにおける彩層・降着円盤蒸発の数値シミュレーション ○磯部洋明 (京大理)、柴田一成 (京大理)、横山央明 (国立天文台野辺山)、今西健介 (京大理)			
14 : 42	P23a	COMICS + すばる による TTauri 型星の中間赤外線分光観測 ○本田充彦、宮田隆志、酒向重行、田窪信也、尾中 敬 (東大理)、片ざ宏一 (宇宙研)、岡本美子 (北里大)、山下卓也 (国立天文台)			

Q. 星間現象 (F 会場)

3 / 28 (木)	3 / 28 (木)
10 : 00 Q01a 「なんてん」による^{12}CO銀河面サーベイ I ○水野 亮、松永健一、森口義明、大西利和、水野範和、山口玲子、斉藤弘雄、青山紘子、山本宏昭、豊田秋一郎、伊藤雄樹、梅田裕介、中川真規、福井康雄 (名大理)	Q09c 「なんてん」によるオリオン-Eリダヌスバブルの広域観測 ○青山紘子、水野範和、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)
Q02c 「なんてん」による^{12}CO銀河面サーベイ II ○福井康雄、水野 亮、松永健一、森口義明、大西利和、水野範和、山口玲子、斉藤弘雄、青山紘子、山本宏昭、豊田秋一郎、伊藤雄樹、梅田裕介、中川真規 (名大理)	11 : 24 Q10a NGC2264 領域の中性炭素原子輝線マッピング観測 ○松尾公大 (東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ
10 : 12 Q03a 銀河系外縁部分子雲の無バイアス探索 ○中川真規、森口義明、松永健一、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)	11 : 36 Q11a おうし座暗黒星雲 L1495 における $\text{Cl}(^3\text{P}_1-^3\text{P}_0)$ 輝線のマッピング観測 ○久保井信行 (東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ
10 : 24 Q04a 「なんてん」による銀河系中心領域の分子雲観測 ○梅田裕介、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)	11 : 48 Q12b $\text{Cl}(^3\text{P}_1-^3\text{P}_0)$ 輝線によるおうし座 L1495 領域のフィラメント構造の観測 ○新保 謙、岡 朋治、山本 智 (東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ
10 : 36 Q05a 「なんてん」による高銀緯分子雲複合体の観測 ○山本宏昭、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)	11 : 48 Q13b AFGL 333 領域の $\text{Cl}(^3\text{P}_1-^3\text{P}_0)$ マッピング観測 ○酒井 剛 (東大理)、他 富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ
10 : 48 Q06a カリーナフレアに付随する巨大分子雲の CO 観測 ○松永健一、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)	11 : 48 Q14b 富士山頂サブミリ波望遠鏡による、銀河面分子雲の $\text{Cl}(^3\text{P}_1-^3\text{P}_0)$ 輝線の観測 ○林田将明、岡 朋治、山本 智 (東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ
11 : 00 Q07a M16, M17 の CO 観測：スーパーシェ尔における連鎖的星形成 ○森口義明、峯 義浩、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)	14 : 00 Q15a 富士山頂サブミリ波望遠鏡による暗黒星雲 L134/L1780 の Cl マッピング観測 ○伊藤哲也、山本 智 (東大理) 他 富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ
11 : 12 Q08a 「なんてん」によるとも座領域の CO 観測 ○伊藤雄樹、松永健一、水野範和、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)	14 : 12 Q16a ρ Oph 領域の暗黒星雲に対する中性炭素原子輝線の観測 ○亀谷和久、岡 朋治、山本 智 (他、富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ)
	14 : 24 Q17a オリオン B 分子雲における中性炭素原子雲の詳細観測 ○池田正史 (理研)、岡 朋治、山本 智 (東大理)

3 / 28 (木)	3 / 29 (金)
14 : 36 Q18a ASCA による超新星残骸 Kes79 の観測 ○江ノ口 英之、常深 博 (阪大理)	09 : 30 Q28a BEARS Star-Formation Project 6 : Taurus-Auriga 領域における $^{13}\text{CO } J=1-0$ 観測 (3)
Q19c ASCA による超新星残骸 Kes27 の観測 ○常深 博、江ノ口英之、宮田恵美、 吉田久美 (阪大理)	○宮崎敦史、砂田和良、河村晶子 (国立天文台野辺山)、北村良実 (宇宙研)、犬塚修一郎 (京大理)、 小山 洋、森野潤一 (国立天文台)
14 : 48 Q20a XMM-Newton 衛星による超新星残骸 IC443 の観測 ○平賀純子、常深博 (阪大理)、B. Achenbach (MPE)、宮田恵美 (阪大理)	09 : 42 Q29a コンパクト HII 領域のダスト含有率 ○赤羽賢司、久野成夫 (国立天文台 野辺山)
15 : 00 Q21a 「あすか」観測による超新星残骸 IC443 の過電離プラズマの発見 ○川崎正寛、尾崎正伸、長瀬文昭 (宇 宙研)、政井邦昭、石田 学 (都立大理)、 Robert Petre (NASA/GSFC)	09 : 54 Q30a Heiles Cloud 2 外縁部の分子形成領域 の詳細構造 ○阪本成一、砂田和良 (国立天文台)
15 : 12 Q22a Chandra 衛星による X 線反射星雲候補 天体の観測 ○村上弘志、千田篤史、小山勝二 (京大理)	10 : 06 Q31a BEARS Star-Formation Project 5: 高 密度コアの散逸過程 ○砂田和良、河村晶子、宮崎敦史 (国立天文台野辺山)、北村良実 (宇宙研)、犬塚修一郎 (京大理)
15 : 24 Q23a Chandra による銀河中心高温プラズマ の空間分布の系統的解析 ○千田篤史、村上弘志、馬場 彩、 高木慎一郎、小山勝二 (京大理)	10 : 18 Q32a 立方晶アセチレン微粒子の赤外吸収ス ベクトル ○平林慎一、平原靖大 (名大院環境)、 矢沢文章 (名大理)
15 : 36 Q24a X 線吸収端を用いた Cyg X-2 方向の星 間物質の重元素組成比の推定 ○竹井 洋、満田和久、藤本龍一 (宇宙研)、尾中 敬 (東大天文)	10 : 30 Q33a 木曾 2kCCD による暗黒星雲の広域観測 ○神鳥 亮、土橋一仁、上原 隼、佐藤 文男 (東京学芸大)
15 : 48 Q25b Chandra による銀河中心付近の diffuse 構造の探査 ○馬場 彩、村上弘志、千田篤史、高 木慎一郎、小山勝二 (京大理)	Q34c 木曾 2kCCD による暗黒星雲の広域観測 ○神鳥 亮、土橋一仁、上原 隼、佐藤 文男 (東京学芸大)
15 : 48 Q26b 銀河ガス円盤の大局的 MHD シミュ レーション ○錦織弘充、町田真美 (千葉大自然)、 松元亮治 (千葉大理)	10 : 42 Q35a 星間乱流の散逸過程について ○小山 洋 (国立天文台)、犬塚修一郎 (京大理)
15 : 48 Q27b BCD 銀河の HI エンベロープにおけ る微細構造の起源 ○南野公彦、井上昭雄、釜谷秀幸 (京大理)	10 : 54 Q36a 暗黒星雲コアでの重元素濃縮と C/O depletion ○斎藤修二 (福井大)、尾関博之 (宇宙開発事業団)、大石雅寿 (国 立天文台)、山本 智 (東大理)

R. 銀河 (A会場)

3 / 29 (金)	3 / 28 (木)
11 : 06 Q37a 衝撃波による高エネルギー電子加速: サーフィン加速 ○星野真弘 (東大理)、島田延枝 (通総研)	10 : 00 R01a 赤方偏移率—後退速度関係の再検討 (その6 相対性原理の根本的な欠陥と矛盾) ○阿武靖彦 (一)
11 : 18 Q38a Observing Baryonic Dark Matter with ALMA ○釜谷秀幸 (京大理)、Joseph Silk (オックスフォード大物理)	10 : 12 R02a 銀河系内の構造形成衝撃波によるリチ ウム 6 同位体の生成 —銀河形成時の散 逸過程の証拠を探る— ○鈴木 建 (国立天文台 / 東大理)、 井上 進 (国立天文台)
11 : 30 Q39b 高銀緯分子雲 MBM 11 — 12 の分子雲 形成領域の観測 ○高橋順子 (理研)、斎藤正雄 (CfA, Harvard-Smithsonian)、阪本成一、 立松健一、臼田知史、小林 尚人、 臼田 - 佐藤 功美子 (国立天文台)、 上原英也 (日本 SGI)	10 : 24 R03a 第一世代星形成過程における暗黒物質 の影響 ○西 亮一 (京大理)
11 : 30 Q40b すばる +COMICS による銀河中心の中 間赤外観測 ○岡田陽子、尾中 敬、宮田隆志、酒 向重行、田窪信也、本田充彦 (東大 理)、片ざ宏一 (宇宙研)、山下卓也 (国立天文台)、岡本美子 (北里大)、 すばる望遠鏡チーム	10 : 36 R04a SPH 法に基づく輻射流体力学的銀河形 成シミュレーション II ○須佐 元、梅村雅之 (筑波大計算物理)
11 : 30 Q41b 超音速ジェットと Step-scan FTIR を 組み合わせた赤外分光装置の開発 ○平林慎一、平原靖大 (名大院環境)	10 : 48 R05a 銀河形成初期における多重超新星爆発 の効果—1024 ³ 格子点を用いた高精度 シミュレーション解析— ○森 正夫 (専修大)、梅村雅之 (筑波大)
Q42c 近接連星系における星風降着流の 3 次 元数値シミュレーション ○長江滝三 (神戸大自然)、松田卓也 (神戸大理)、藤原秀和 (日本 IBM)、 蜂巢 泉 (東大総合文化)、H. Boffin (ベルギー王立天文台)	11 : 00 R06a GALPROP を使った系内銀河起源の γ 線のシミュレーション ○山中京一、深沢泰司、吉田勝一 (広島大)
	11 : 12 R07a XMM-Newton および Chandra 衛星に よる M31 の観測 ○高橋弘充、岡田 祐、牧島 一夫 (東大理)
	11 : 24 R08b Chandra 衛星による M51 銀河内の X 線源の観測 ○寺島雄一 (宇宙研 / メリーランド大)、 Andrew S. Wilson (メリーランド大)
	11 : 24 R09b 大質量ブラックホールまわりの降着円 盤内における元素合成 ○松葉龍一、荒井賢三 (熊大理)、藤 本信一郎 (熊本電波高専)、小池 修、 橋本正章 (九大理)
	R10c 中心ブラックホールをもつ高密度恒星系の Fokker — Planck シミュレーション: 方法 ○高橋広治 (東大理)

3 / 28 (木) R11c 銀河における星団に働く Dynamical friction と化学進化の効果 ○松林達史 (東工大)、戎崎俊一 (理研) 11 : 24 R12b X線衛星あすかによる SMC サーベイ 最終報告 ○横川 淳、今西健介、辻本匡弘、小山勝二 (京大理)、西内満美子 (原子力研)、長瀬文昭 (宇宙研)、Robin Corbet (NASA/GSFC)、鳥居研一 (NASDA) 11 : 36 R13b VERA を用いた位置天文重力レンズ 観測の可能性 ○本間希樹 (国立天文台)、倉山智春 (東大) 11 : 36 R14b M51 渦状腕における高密度ガスおよび 星生成(II) ○濤崎智佳、長谷川 隆 (ぐんま天文台)、塩谷泰広 (東北大理)、久野成夫 (NRO)、松下聡樹 (CfA) 11 : 36 R15b 系外銀河の赤外線放射 ○望月治子、尾中 敬 (東大理)、高木俊暢 (Imperial College)、芝井 広 (名大理) 11 : 48 R16b ALMA で見るダスト赤外放射に対する マイクロレンズ効果 ○高橋芳太、井上昭雄 (京大理) 11 : 48 R17b Infrared Spectral Energy Distribution of Galaxies in their Birth ○竹内 努 (東大天文センター/NAOJ)、平下博之 (Arcetri Obs.)、石井貴子 (京大理天文台) 11 : 48 R18b Infrared SED Model of Metal Poor Galaxies: Application to SBS 0335-052 and Prospects for a Large Infrared Survey ○竹内 努 (東大天文セ/NAOJ)、平下博之、Leslie Hunt、Andrea Ferrara (Arcetri) 12 : 00 R19b minor merger に伴う銀河円盤の力学的 進化 ○出田 誠 (京大理)	3 / 28 (木) 14 : 00 R20a QSO environment and galaxy formation ○榎 基宏 (阪大理/国立天文台)、長島雅裕、郷田直輝 (国立天文台) 14 : 12 R21a 輻射流体力学モデルによる QSO-Host relation と NLQSO1 ○川勝 望 (筑波大物理)、梅村雅之 (筑波大計算物理) 14 : 24 R22a 近傍銀河の統計的性質の階層的銀河形成モデルによる解析 ○長島雅裕 (国立天文台)、吉井 譲 (東大理) 14 : 36 R23a Evolution of the mass-function of stars in globular clusters ○Holger Baumgardt (東大天文) 14 : 48 R24a 変光星により距離決定におけるバイアス と LMC の距離 ○山田良透 (京大理)、郷田直輝、辻本拓司 (国立天文台) 15 : 00 R25a High resolution CO $J = 1-0$ survey toward IC 10 ○河村晶子 (国立天文台野辺山)、生田ちさと (Nottingham 大学)、太田耕司 (京大理)、祖父江義明 (東大理)、有本信雄 (国立天文台)、山田義彦 (東大理) 15 : 12 R26a Dense gas formation of the pre-starburst galaxy NGC 4527 ○芝塚要公 (東大理)、松下聡樹 (CfA)、河野孝太郎 (天文センター)、川辺良平 (国立天文台) 15 : 24 R27a 銀河系中心核円盤部の大振幅変光星についての一酸化珪素レーザー探査 今井 裕 (国天水沢)、○出口修至 (国天野辺山)、藤井高宏 (国天)、板 由房 (東大理)、泉浦秀行 (国天岡山)、亀谷 収 (国天水沢)、宮崎 敦 (国天野辺山)、中田好一 (東大理)、中島淳一 (総研大)、Ian Glass (SAAO)
--	--

3 / 28 (木) 15 : 36 R28a ダスト赤外放射光度一星形成率換算式 ○井上 昭雄 (京大理) 15 : 48 R29a An empirical estimation of far-Infrared SED of Near-by Galaxies ○永田洋久、芝井 広 (名大理)、竹内 努 (国立天文台)、尾中 敬 (東大理)	3 / 29 (金) 10 : 30 R35a Origin of Hδ strong galaxies in distant clusters ○塩谷泰広 (東北大理)、戸次賢治、J. W. Couch (University of New South Wales) 10 : 42 R36a Suprime-Cam, SIRIUS, CISCO を用いた多色 ERO 探査 ○宮崎真行、岡村定矩、嶋作一大、古澤久徳、大内正己、仲田史明、土居 守 (東大理)、小宮山裕、関口和寛、高田唯史 (国立天文台ハワイ)、宮崎 聡、八木雅文、安田直樹 (国立天文台)、舞原俊憲、岩室史英 (京大理)、Suprime-Cam team, SIRIUS team, CISCO team
3 / 29 (金) 09 : 30 R30a 銀河の real spectra を用いた photometric redshift ○松田有一、田村 一、林野友紀 (東北大理) 09 : 42 R31a 測光的赤方偏移に基づくすばるディープフィールドにおける銀河の光度関数の進化 ○古澤久徳、嶋作一大、大内正己、宮崎真行、仲田史明、木村仁彦、土居 守、岡村定矩 (東大理)、小宮山 裕 (ハワイ観測所)、宮崎 聡、八木雅文、安田直樹、柏川伸成 (国立天文台)、Suprime-Cam Team, FOCAS Team 09 : 54 R32a 謎の天体 ``ライマン<math>\alpha</math>ブロッブ``はハイパーウィンド銀河か? ○谷口義明、塩谷康広 (東北大理)、Yuko Kakazu (IfA, UH) 10 : 06 R33a すばるディープフィールドにおける $z=4.86$ Ly α 輝線銀河の性質 ○大内正己、嶋作一大、古澤久徳、宮崎真行、岡村定矩 (東大理)、林野友紀、田村 一、塩谷泰広、谷口義明 (東北大理)、小平桂一 (総研大)、土居 守、木村仁彦、関口真木 (東大)、小宮山裕 (ハワイ)、宮崎 聡、八木雅文、安田直樹 (国立天文台)、浜部 勝 (日本女子大理) 10 : 18 R34a すばる CISCO/OHS による Hα emitter (@$z=2.43$) の近赤外観測 ○島 尚徳、舞原俊憲、太田耕司、岩室史英、FMOS グループ (京大理)	10 : 54 R37a 波長分解能 2 Å の星の種族合成モデルの構築: 吸収線指標から探る楕円銀河の星生成史 ○山田善彦 (東大理)、有本信雄 (国立天文台)、中村 理 (宇宙線研) 11 : 06 R38a Sloan Digital Sky Survey 中の近傍銀河の観測諸量と形態の関係 ○中村 理、福来正孝 (東大宇宙線研)、安田直樹 (国立天文台) 11 : 18 R39b すばるディープフィールドにおける銀河の星形成史 ○大内正己、嶋作一大、古澤久徳、宮崎真行、岡村定矩、土居 守、木村仁彦、関口真木 (東大)、小宮山裕、宮崎聡、八木雅文、安田直樹 (国立天文台)、浜部 勝 (日本女子大理) 11 : 18 R40b Lyman Break Galaxies at $z \sim 5$ around the Hubble Deep Field North ○岩田 生、太田耕司、田村直之、安東正隆、須藤 淳、和田晋平、渡辺ちさと (京大理)、秋山正幸 (国立天文台)、青木賢太郎 (東大理) 11 : 18 R41b E+A galaxies in the Sloan Digital Sky Survey ○Tomotsugu Goto, Robert C. Nichol, Christopher J. Miller, Percy L. Gomez (CMU), Michael Balogh (Durham), Ann I. Zabludoff (Arizona), SDSS collaboration

3 / 29 (金)		3 / 29 (金)	
13 : 30	R42a クェーサーの Fe/Mg 輝線比の進化 ○岩室史英 (京大理)、本原顕太郎 (東大天文セ)、舞原俊憲、木村仁彦 (京大理)、吉井 譲、土居 守 (東大天文セ)	14 : 42	R48a MAGNUMプロジェクト 6. 可視近赤外域におけるクェーサーの変光観測 ○塩谷圭吾、吉井 譲、峰崎岳夫 (東大天文セ)、小林行泰 (国立天文台)、菅沼正洋、富田浩行 (東大理)、青木勉 (東大天文セ)、B. A. Peterson (ANU)、土居 守、本原顕太郎 (東大天文セ)
13 : 42	R43a MAGNUMプロジェクト 1. 試験観測の概要 ○小林行泰 (天文台)、吉井 譲、峰崎岳夫、青木 勉、塩谷圭吾 (東大天文セ)、菅沼正洋、富田浩行 (天文台/東大理)、土居 守、本原顕太郎 (東大天文セ)、Bruce A. Peterson (ANU)	14 : 54	R49a 色一等級図から探る局所銀河郡矮小銀河の星形成史: 晩期型から早期型へ形態遷移? 生田ちさと (ノッティンガム大理)、 ○有本信雄 (国立天文台)、Pascalc JABLONKA (パリムードン天文台)
13 : 54	R44a MAGNUMプロジェクト 2. dust reverberation による A G N 変光曲線モデル ○吉井 譲、峰崎岳夫、青木 勉、塩谷圭吾 (東大天文セ)、小林行泰 (国立天文台)、菅沼正洋、富田浩行 (東大理)、B. A. Peterson (ANU)、土居 守、本原顕太郎 (天文セ)	15 : 06	R50a 色一等級図から探る早期型矮小銀河の星形成史と化学進化史 ○生田ちさと (ノッティンガム大理)、有本信雄 (国立天文台)
14 : 06	R45a MAGNUMプロジェクト 3. NGC 4151 の変光と dust reverberation ○峰崎岳夫、吉井 譲、青木 勉、塩谷圭吾 (東大天文セ)、小林行泰 (天文台)、菅沼正洋、富田浩行 (東大理)、B. A. Peterson (ANU)、土居 守、本原顕太郎 (天文セ)	15 : 18	R51a 楕円銀河の金属量勾配 II ○小林千晶 (東大理天文)
14 : 18	R46a MAGNUMプロジェクト 4. NGC5548 の可視 - 近赤外線モニター結果 ○菅沼正洋 (東大理)、吉井 譲、青木勉、峰崎岳夫、塩谷圭吾 (東大天文セ)、小林行泰 (国立天文台)、富田浩行 (東大理)、B. A. Peterson (ANU)、土居 守、本原顕太郎 (東大天文セ)		R52c Color Gradients in Early-Type Galaxies in ABELL 2199 ○田村直之、太田耕司 (京大理)
14 : 30	R47a MAGNUMプロジェクト 5. MCG+08-11-011 の可視 - 近赤外線モニター結果 ○富田浩行 (東大理)、吉井 譲、青木勉、峰崎岳夫、塩谷圭吾 (東大天文セ)、小林行泰 (国立天文台)、菅沼正洋 (東大理)、B. A. Peterson (ANU)、土居 守、本原顕太郎 (東大天文セ)	3 / 30 (土)	
		09 : 30	R53a セイファート銀河 NGC4388 周りに広がる巨大電離ガス領域の発見 ○吉田道利、八木雅史、大山陽一、柏川伸成、家 正則 (国立天文台)、岡村定矩、青木賢太郎 (東大)、大谷浩 (京大)、Suprime-Cam グループ

S. 活動銀河核 (A 会場)

3 / 30 (土)		3 / 30 (土)	
09:42	S01a 狭輝線 1 型セイファート銀河のスペクトルモデルと中心核の年齢 ○川口俊宏 (京大理/オクラホマ大)	11:06	S09b 2 型セイファート銀河のトーラスはどの程度光学的に厚いのか? ○小林梨絵、村山 卓、長尾 透、谷口義明 (東北大理)
09:54	S02a 低光度活動銀河核 NGC 4258 の X 線長期変動 ○伊予本直子、寺島雄一 (宇宙研)、David Smith (Maryland 大学)	11:06	S10b Chandra 衛星による 超大光度赤外線銀河 PKS 1345+125 の X 線観測 ○穴吹直久、藤本龍一、米徳大輔、中川貴雄、井上 一 (宇宙研)
10:06	S03a チャンドラ衛星による電波コアを持つ LINER のサーベイ観測 ○寺島雄一 (宇宙研/メリーランド大)、Andrew S. Wilson (メリーランド大)	11:18	S11b 高光度の狭輝線セイファート銀河は X-ray weak か? ○松本千穂、Karen M. Leighly (The University of Oklahoma)
10:18	S04a 「あすか」による X 線背景放射のスペクトルと大規模揺らぎの研究 久志野彰寛、○石崎欣尚、森田うめ代、山崎典子、石田 学、大橋隆哉 (都立大理)、上田佳宏 (宇宙研)	11:18	S12b ライマンブレイク銀河から漏れ出る電離光子: AGN 起源の可能性 ○井上昭雄、細川隆史、渡会兼也 (京大理)
10:30	S05a XMM-Newton 衛星による電波銀河 Centaurus B の観測 ○田代 信、鈴木雅也 (埼玉大理)、磯部直樹、牧島一夫 (東大理)、深沢泰司 (広島大理)	11:18	S13b 降着円盤からの電子-陽電子ジェット生成 — 輻射抵抗について — ○山崎達哉 (阪大レーザー研)、高原文郎 (阪大理)、楠瀬正昭 (関西学院大理)
10:42	S06a <i>RXTE</i> 衛星による 3C 273 の長期 X 線モニター ○片岡 淳 (東工大理)、谷畑千春 (宇宙研)、河合誠之 (東工大理)、高原文郎 (阪大理)、高橋忠幸 (宇宙研)	11:30	S14b 降着とエネルギー抽出によるブラックホール進化 ○阿部純也 (茨城大理工)
10:54	S07a 内部衝撃波モデルによる TeV ブレーザーのフレア現象の解釈 ○岩清水ちひろ、高原文郎 (阪大理)、紀 基樹 (阪大理/東北大理)、楠瀬正昭 (関西学院大理)	11:30	S15b 降着円盤の温室効果 ○北島悦子、福江 純 (大阪教育大教育)
11:06	S08b Gas Metallicity of Narrow-Line Regions in NLS1s and BLS1s ○長尾 透、村山 卓、塩谷泰広、谷口義明 (東北大理)	11:30	S16b PKS 1921 — 293 (OV-236): An Unusual Radio Source With A Curved Trajectory ○Zhi-Qiang Shen (ISAS)
		11:42	S17b The Second-EPOCH VSOP Observations of a Superluminal CSS Quasar 3C 380 — Evidence for a Swinging Jet — ○亀野誠二、井上 允、藤沢健太 (国立天文台)、Shen Zhi-Qiang、輪島清昭 (宇宙研)

3 / 30 (土)		3 / 30 (土)	
13 : 30	S18a	モンテカルロシミュレーションによる 輻射と電子対プラズマのカップリング の再現 ○岩本静男、高原文郎 (阪大理)	15 : 06 S26a 弱電波 AGN における中心核のミリ波 放射 ○土居明広 (東大理)、亀野誠二 (国立天文台)、河野孝太郎 (東大理)
13 : 42	S19a	電波銀河ホットスポットでの衝撃波に よる電子加速効率 ○紀 基樹 (阪大理/東北大理)、高原 文郎 (阪大理)	15 : 18 S27a ブラックホール解像装置「ほらいずん 望遠鏡」 ○三好 真、亀野誠二 (国立天文台)
13 : 54	S20a	活動銀河核ジェットの伝搬の特性に関 する研究 ○水田 晃、山田章一、高部英明 (阪大レーザー研)	15 : 30 S28a 電波で見る活動銀河核中心 ○高橋芳太 (京大理)、嶺重 慎 (基礎物理学研究所)
14 : 06	S21a	3次元 MHD ジェットの速度と質量放 出率 ○加藤精一 (東大天文)、工藤哲洋 (ウェスタンオンタリオ大)、松元亮治 (千葉大理)、柴田一成 (京大理)	15 : 42 S29a アンドロメダ星雲中心における超巨大 ブラックホール群からのデカメータ・ パルス電波源位置の確定 (その2) ーデカメータ電波源に対する±1" 精 度の保証 ○大家 寛 (福井工大)、飯島雅英 (東北大)
14 : 18	S22a	MHD ジェットの間欠的噴出 ○佐藤和久 (京大宇宙物理)、加藤精 一 (東大天文)、工藤哲洋 (ウエスタ ンオンタリオ大)、松元亮治 (千葉大 理)、嶺重慎 (京大基研)、川口俊宏、 柴田一成 (京大理)	
14 : 30	S23a	AGN ジェット内部の Winding Thread 構造ー3次元電磁流体動力学シミュ レーションー ○木暮宏光、中村雅徳、広瀬重信、 内田 豊 (東京理科大理)	
14 : 42	S24a	ブラックホール近傍における磁気回転 不安定性 ○横沢正芳 (茨城大理)	
14 : 54	S25a	QSO の宇宙論的進化と巨大ブラック ホールからの重力波 ○細川隆史 (京大理)、嶺重 慎 (京大 基研)	

T. 銀河団 (E 会場)

3 / 28 (木)		3 / 28 (木)	
10:00	T01a $z \sim 1.27$ のやまねこ座超銀河団領域における銀河特性の環境依存性 ○仲田史明、児玉忠恭、嶋作一大、岡村定矩 (東大理)、Suprime-Cam Team T02c Suprime-Cam Moderate Redshift Cluster Survey ○小宮山 裕、八木雅文、宮崎 聡、安田直樹 (国立天文台)、岡村定矩、関口真木、土居 守、嶋作一大、仲田史明、古沢久徳、木村仁彦、大内正巳 (東大)、浜部 勝 (日本女大)	11:24	T09a ミリ波電波カメラによるスニヤエフェルドビッチ効果観測計画 X ○坪井昌人、園田陽子 (茨城大理)、春日 隆 (法政大工)、宮崎敦史、久野成夫、坂本彰弘 (国立天文台野辺山)、松尾 宏 (国立天文台) 他 SZ 観測チーム
10:12	T03a 銀河団ガス中に存在する電波銀河 3C 129 からの非熱的放射の検出 ○和田恵一、田中 武、秋元文江、古澤彰浩、田原 譲、山下廣順 (名大理)	11:36	T10a 電子-電子による熱制動輻射ゴースト因子の非相対論的計算 ○野澤 智 (城西女子短大)、伊藤直紀、川名洋平 (上智大理工)
10:24	T04a 「ASCA」によるケンタウルス座銀河団と銀河団 2A0335+096 の重元素分布の測定 ○田中 武、和田恵一、秋元文江、古澤彰浩、田原 譲、山下廣順 (名大理)	11:48	T11b Chandra 衛星による A1060 銀河団ガスの温度・輝度分布 ○古庄多恵 (NASA/GSFC)、山崎典子、大橋隆哉 (都立大理)
10:36	T05a XMM 衛星による M 87 と楕円銀河 NGC4291 の重力質量分布の決定 ○松下恭子、H. Böhringer (MPE)	11:48	T12b 最新のプラズマコード APEC と M 87 の観測データとの比較 ○松下恭子、H. Böhringer (MPE)
10:48	T06a X線観測による銀河団におけるダークマターの「温度」の測定 ○池辺 靖、Hans Böhringer (マックスプランク宇宙空間物理学研究所)	11:48	T13b 銀河団内銀河からの質量放出量と heating rate ○内田修二、吉田龍生 (茨大理工)
11:00	T07a 新しいX線観測による銀河団クーリングフロー仮説の終焉 ○牧島一夫、高橋 勲、川原田 円 (東大理)、池辺 靖、松下恭子 (MPE)、田村隆幸 (SRON)	12:00	T14b 銀河団内銀河の自転軸分布に対する潮汐力の影響 ○海老秀一 (千葉大自然)、山下和之 (千葉大総メセ)、宮路茂樹 (千葉大自然)
11:12	T08a 銀河団ガスの冷却可能性 ○北山 哲 (東邦大理)、政井邦昭 (都立大理)		

U. 宇宙論 (E 会場)

3 / 30 (土)		3 / 30 (土)	
10 : 18	U01b Sloan Digital Sky Survey による宇宙大構造のジーナス統計とバイアスについての初期報告 ○日影千秋、樽家篤史、須藤 靖 (東大理)	13 : 30	U09a Analytic Approach to the Cloud-in-cloud Problem for Non-Gaussian Density Fluctuations ○井上太郎、長島雅裕 (国立天文台)
10 : 30	U02a Fermion Flavor Mixing in the Oscillating Background ○金井恒人、辻川 信二 (東大理)		U10c Relative Neighborhood Graph for Estimating the Large-Scale Structure of the Universe ○上田晴彦 (秋田大教育文化)
10 : 42	U03a ビッグバン元素合成、CMB、重力波からのスカラー場宇宙項への制限 ○市来淨典 (東大天文)、梶野敏貴、折戸 学 (国立天文台)、八尋正信 (琉球大)、G. J. Mathews (Notre Dame 大)	13 : 42	U11a SDSS 銀河二体相関関数 ○加用一者、須藤 靖 (東大理)、中村理、福来正孝 (東大宇宙線研)
	U04c 宇宙の非一様性の宇宙パラメーターへの影響 ○立川崇之、前田恵一 (早大理工)	13 : 54	U12a Reliability of the dark matter clustering in cosmological N-body simulation on scales below the mean separation length of particles ○浜名 崇 (国立天文台)、吉田直紀 (ハーバード大 CfA)、須藤 靖 (東大理)
10 : 54	U05a Primordial Fluctuation Evolution in Scalar-Tensor Cosmology ○永田 竜、千葉 剛 (京大理)、杉山直 (国立天文台)	14 : 06	U13a 宇宙論的 N 体計算における平均特異速度場について ○福重俊幸 (東大総合文化)、須藤靖 (東大理)
	U06c ゆらぎの線形成長の解釈について ○今井弘二 (京産大理)	14 : 18	U14a 重力レンズによる Dark Matter Substructure の検出法 ○米原厚憲、須佐 元、梅村雅之 (筑波大計算物理)
11 : 06	U07a 宇宙の密度揺らぎにおける caustics の解析 ○矢野太平 (国立天文台)、T. Buchert (Universite de Geneve)、郷田直輝 (国立天文台)	14 : 30	U15a 重力レンズ time delay の統計 ○大栗真宗、樽家篤史、須藤 靖 (東大理)、Edwin L. Turner (Princeton Univ.)
11 : 18	U08a 系外惑星による位置天文的マイクロ弱重力レンズ ○浅田秀樹 (弘前大理工)	14 : 42	U16a SIDM の gravothermal catastrophe S. Balberg (ヘブライ大)、S. L. Shapiro (イリノイ大)、○稲垣省五 (京大理)

V. 地上観測機器 (F 会場)

3 / 29 (金)		3 / 29 (金)	
13 : 30	V01a すばる望遠鏡 2001 年夏期大改修 ○佐々木敏由紀、沖田喜一、中桐正夫、大島紀夫、湯谷正美、倉上富夫、神沢富夫、宮下暁彦、小杉城治、臼田知史、林左絵子、能丸淳一、小俣孝司、浦口史寛、安藤裕康、関口和寛、玉栄正人、ほかハワイ観測所職員 (国立天文台)、伊藤 昇、白銀昭二、小笠原武二、石川 幹 (三菱電機)	14 : 18	V07a FMOS(すばる望遠鏡主焦点多天体分光器)の開発 VI:主焦点ユニットの設計 ○木村仁彦、舞原俊憲、太田耕司、岩室史英、田村直之、衛藤 茂、島 尚徳、飯野将史、持田大作 (京大理)、秋山正幸 (国立天文台)、AAO (オーストラリア)、FMOS グループ
13 : 42	V02a すばる望遠鏡の性能の現状報告および機能更新プラン ○臼田知史、望遠鏡グループ、装置グループ (国立天文台ハワイ)、三菱電機 V03c CIAX 制御ソフトウェアの報告 ○小俣孝司、臼田知史、湯谷正美、西村徹朗、CIAX チーム (国立天文台ハワイ)	14 : 30	V08a FMOS(すばる望遠鏡主焦点多天体分光器)の開発 VII:分光器の光学設計 ~新しい非球面プレートの導入~ ○持田大作、舞原俊憲、太田耕司、岩室史英、田村直之、木村仁彦、衛藤 茂、島 尚徳、飯野将史 (京大理)、秋山正幸 (国立天文台)、FMOS グループ
13 : 54	V04a すばる望遠鏡中間赤外線高分散分光観測装置プロトタイプ光学設計 ○小林英臣、平原靖大、大森 実、所仁志、新 正司 (名大院環境)、町田貴志 (名大理)、海老塚昇 (理研)、川口建太郎 (岡山大理)、増田忠志 (名大理装置開発室) V05c すばる望遠鏡 FOCAS 用高分散 VPH グリズムの開発ー RCWA を用いた数値解析と試作ー ○岡 恵子、渡辺真美、小館香椎子 (日本女子大理)、海老塚昇 (理研)、クラウスヴェルナー (通総研)、藤野誠 (トプコン研)、川畑政巳 (日本ペイント)、家 正則 (国立天文台)	14 : 42	V09a FMOS(すばる望遠鏡主焦点多天体分光器)の開発 VIII:FMOS 近赤外線分光器 (FMOS-IRS)の開発状況 ○衛藤 茂、舞原俊憲、太田耕司、岩室史英、田村直之、木村仁彦、島 尚徳、飯野将史、持田大作 (京大理)、秋山正幸 (国立天文台)、FMOS グループ
14 : 06	V06a すばる主焦点 狭帯域・中間帯域フィルターシステム整備の現状 ○林野友紀、田村 一、松田有一、谷口義明、塩谷泰広 (東北大大理)、岡村定矩、土居守、嶋作一大、大内正己 (東大理)、小平桂一 (総研大)、小宮山裕 (ハワイ観測所)	14 : 54	V10a ワンチップマイコンによる汎用制御ボード ○清水康広 (国立天文台岡山)
		15 : 06	V11b FMOS(すばる望遠鏡主焦点多天体分光器)の開発 IX: FMOSの開発状況 ○飯野将史、舞原俊憲、太田耕司、岩室史英、田村直之、木村仁彦、衛藤 茂、島 尚徳、持田大作 (京大理)、秋山正幸 (国立天文台)、AAO、UK、FMOS グループ
		15 : 06	V12b すばる望遠鏡観測装置 FOCAS: IV. 偏光モード地上試験評価 ○川端弘治、大山陽一、佐々木敏由紀、関口和寛、家 正則、稲田素子、柏川伸成、小杉城治、沖田喜一、清水康広、高田唯史、吉田道利 (国立天文台)、海老塚 昇 (理研)、青木賢太郎 (東大天セ)、齊藤嘉彦、三澤 透 (東大理)、田口弘子 (早稲田実業)、矢動丸 泰、小澤友彦 (みさと天文台)、浅井 良 (株 SEC)、ほか FOCAS 開発チーム

3 / 29 (金)		3 / 30 (土)	
15 : 06	V13b 近赤外線多天体分光撮像装置の開発 : 近赤外アレイセンサー HAWAII-2 の性能評価 ○勝野由夏、市川 隆、浅井研一郎、鈴木竜二 (東北大理)、西村徹郎 (国立天文台ハワイ)	09 : 42	V19a 木曽観測所のリモート自動観測システム ○征矢野隆夫、宮田隆志、青木 勉、樽沢賢一、西浦慎悟、三戸洋之 (東大木曽)、柳澤顕史 (国立天文台岡山)
15 : 18	V14b 中間赤外觀測装置 COMICS 用 新データ取得デバイスの開発 ○酒向重行 (東大理)、片ざ宏一 (宇宙研)、宮田隆志、田窪信也、本田充彦、尾中敬 (東大理)、岡本美子 (北里大)、山下卓也 (国立天文台)	09 : 54	V20a 東京大学木曽観測所 30cm 望遠鏡の遠隔自動制御システムの開発 ○三戸洋之、樽沢賢一、征矢野隆夫、青木 勉、中田好一、宮田隆志、西浦慎悟 (東大木曽)、板 由房 (東大理)
15 : 18	V15b すばる観測装置 COMICS の N バンド中分散・高分散分光機能 ○岡本美子 (北里大)、片ざ宏一 (宇宙研)、山下卓也 (国立天文台)、宮田隆志、酒向重行、田窪信也、尾中 敬 (東大理)		V21c 南天 CCD サーベイ用広視野カメラ - ファーストライトと今後 ○大藪進喜、川良公明 (東大天文センター)、中島 紀、今西昌俊 (国立天文台)、Bruce A. Peterson (RSAA, ANU)
15 : 18	V16b 超伝導トンネル接合素子を用いた近赤外～可視～紫外～極端紫外域の一光子分光検出器の開発 (III) ○志岐成友、大谷知行、佐藤広海、滝澤慶之、池田一昭、池田時浩、奥 隆之、川井和彦、清水裕彦、宮坂浩正、森嶋隆裕、渡辺 博 (理研)、有吉誠一郎 (総研大)、仲川 博、赤穂博司、青柳昌宏 (産総研)、田井野徹 (九大工)	10 : 06	V22a 光干渉計 MIRA-I.2 の現状 ○大石奈緒子、佐藤弘一、吉澤正則、西川 淳、鳥居泰男、松田 浩、久保浩一、岩下光 (国立天文台)、小谷隆行 (東大理)、横井拓也 (法政大)
		10 : 18	V23a 光ファイバ結合光干渉計の開発 ○小谷隆行 (東大理)、MIRA グループ (国立天文台)
		10 : 30	V24a 液晶を用いた干渉型ステラコロナグラフの開発 ○村上尚史、馬場直志、石垣 剛、斎藤正芳 (北大工)、橋本信幸 (シチズン時計)
3 / 30 (土)		10 : 42	V25a ALMA ミリ波帯受信機の開発 ○小川英夫、木村公洋、浅山信一郎、米倉覚則 (大阪府大総合科学)、水野範和、水野亮、鈴木和司、福井康雄 (名大理)、安藤浩哉 (豊田高専)、野口 卓、関本裕太郎 (国立天文台)
09 : 30	V17a Super-OASIS の開発 : OASIS 大改修 ○柳澤顕史、森 淳、浦口史寛、清水康弘、渡邊悦二 (国立天文台) 奥村真一郎 (宇宙開発事業団) 田実晃人、岡田隆史、小矢野 久、乗本祐慈 (国立天文台)	10 : 54	V26b ASTE 搭載 3 色(350,650,850GHz)ボロメーターの開発(2) ○小出直久 (名大)、湯浅勝人 (東工大)、有吉誠一郎 (総研大)、坂本彰弘、岡田則夫、松尾 宏 (国立天文台)
	V18c 岡山天体物理観測所 188cm 望遠鏡の新しい制御システムの開発 ○吉田道利、清水康広、渡辺悦二、柳澤顕史、倉上富夫 (国立天文台)		

3 / 30 (土)		3 / 30 (土)	
10 : 54	V27b 100 GHz 帯導波管型 90° ハイブリッドカプラーの製作 ○鈴木和司、前田普教、南谷哲宏、水野範和、水野 亮、福井康雄 (名大理)、木村公洋、浅山信一郎、米倉覚則、小川英夫 (大阪府大総合科学)	11 : 18	V34b VLBI アンテナ用 2、8 GHz 観測用の小型共軸給電部の試作 (3) ○春日 隆、三牧宏彬、中野久松 (法政大学工)
10 : 54	V28b ALMA 用ミリ波帯 SIS ミキサーの開発 ○浅山信一郎、木村公洋、米倉覚則、小川英夫 (大阪府大総合科学)、水野範和、水野 亮、福井康雄 (名大理)、岩下浩幸、砂田和良、宮澤千栄子、関本裕太郎、野口 卓 (国立天文台)	11 : 30	V35b 汎用計算機を用いたギガビット VLBI システムの開発 ○木村守孝 (通総研)、小山友明 (東大理)、近藤哲郎、中島潤一、関戸衛 (通総研)
11 : 06	V29b ALMA ミリ波帯光学系の設計 ○木村公洋、浅山信一郎、米倉覚則、小川英夫 (大阪府大総合科学)、安藤浩哉 (豊田高専)、水野範和、水野 亮、福井康雄 (名大理)、松尾 宏、関本裕太郎 (国立天文台)	11 : 30	V36b 電波ヘリオグラフの遠隔診断システムの開発計画 ○関口英昭、川島 進、篠原徳之、石崎秀晴、齋藤泰文 (国立天文台)
11 : 06	V30b ALMA プロトタイプ受信機の開発 (IV) ○横川創造 (総研大)、関本裕太郎、関口朋彦、野口 卓 (国立天文台)、小川英夫 (大阪府立大)、他 ALMA グループ	13 : 30	V37a ALMA のための試作相関器システムによるフリンジ検出 ○沖浦真保子 (東大理)、井口 聖、奥村幸子 (国立天文台野辺山)、百瀬宗武 (茨城大理)
11 : 06	V31b IF 帯用 3 dB ブランチラインカプラーの設計・評価 ○安藤浩哉、塚本武彦、杉浦藤虎 (豊田高専)、浅山信一郎、木村公洋、米倉覚則、小川英夫 (大阪府大総合科学)、水野範和、水野 亮、福井康雄 (名大理)	13 : 42	V38a ALMA(大型ミリ波サブミリ波干渉計)のための高分散相関器システムの開発 IV. 逆重畳補正とその他各機能 ○井口 聖、奥村幸子、沖浦真保子 (国立天文台野辺山)、百瀬宗武 (茨城大)、近田義広 (国立天文台)
11 : 18	V32b HEB ミキサーによる THz 帯超伝導受信機の開発 ○前澤裕之 (国立天文台野辺山)、新保謙 (東大理)、野口 卓 (国立天文台野辺山)、岡 朋治、山本 智 (東大理)	13 : 54	V39a TAMA300 の現状 (10) ○新井宏二 (国立天文台)、他 TAMA グループ (京大基研、高工研、国立天文台、電通大、東大宇宙線研、東大新領域、東大地震研、東大理、阪大理、宮城教育大)
11 : 18	V33b 北海道大学 11m 電波望遠鏡計画 II. 立ち上げと現状 ○俎徠和夫 (国立天文台)、羽部朝男、藤本正行、兼古 昇、栗野稔太 (北大理)、中井直正、亀野誠二 (国立天文台)	14 : 06	V40a 神岡での重力波観測 ○大橋正健 (東大宇宙線研)、他 LCGT グループ
			V41c 鹿島 34 m 鏡への 43GHz 受信機の設置 ○森崎 悟、面高俊宏、鈴山智也、知識敦、廣田朋也 (鹿大理)、近藤哲朗、小山泰弘、中島潤一、市川隆一、川合栄治、関戸 衛、大崎祐生、大久保 寛、木村守孝 (通信総研)、宮澤敬輔

W. 飛翔体観測機器 (D 会場)

3 / 30 (土)	3 / 28 (木)
14 : 18 V42a 可搬型 18cm サブミリ波望遠鏡の開発 —II. チリ・パンパラボラ移設 ○岡 朋治、山本 智、亀谷和久、松尾公大、林田将明 (東大物理)、池田正史 (理化学研)、関本裕太郎、立松健一 (国立天文台野辺山)、神庭利彰 (三菱電機) 14 : 30 V43a 富士山頂サブミリ波望遠鏡のチョッピング副鏡の開発 ○田中邦彦、岡 朋治 (東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ 14 : 42 V44a VERA 2 ビーム位相較正実験の現状 ○本間希樹 (国立天文台)、VERA 推進グループ 14 : 54 V45a VERA 計画、建設の現状 ○小林秀行、笹尾哲夫、川口則幸、真鍋盛二、亀谷 収、宮地竹史、本間希樹、田村良明、柴田克典、堀合幸次、久慈清助、佐藤克久、岩館健三郎、武士侯健、酒井 利、今井 裕、官谷幸利、藤井高宏、氏原秀樹、望月奈々子 (国立天文台)、面高俊宏、広田朋也 (鹿児島大理)、坪井昌人 (茨城大理)、春日隆 (法政大工) V46c 山口 3.2 m アンテナ整備の進捗 ○藤沢健太、川口則幸、氏原秀樹、山内 彩 (国立天文台) 15 : 06 V47a LEO 衛星ビーコン波を利用した大気擾乱の測定 ○小橋口 洋、西尾正則、鈴山智也 (鹿児島大理)、角野由夫 (信州大理) 15 : 18 V48a 那須バルサー観測所 3 素子ビーム合成及び現状報告 ○国吉雅也、大師堂経明、遊馬邦之、竹内 央、福岡浩二、梅村朋弘、松村寛夫、岳藤一宏、信田耕作 (早大)、市川 創 (自由学園) V49c 早大 64 素子干渉計における観測現状報告 ○竹内 央、大師堂経明、遊馬邦之、国吉雅也、福岡浩二、梅村朋弘、松村寛夫、岳藤一宏、信田耕作 (早大)、市川 創 (自由学園)	10 : 00 W01a 極低温動作 GaAs J-FET の高入力抵抗下における特性評価 ○秋葉 誠、藤原幹生、佐々木雅英 (通信総研) W02c 電波望遠鏡用フィルムレンズアンテナの性能測定: その 2 ○氏原秀樹、近田義広 (国立天文台)、中平勝子 (早大) 10 : 12 W03a 遠赤外線気球望遠鏡(FIRBE)のフライト報告 ○有村成功、芝井 広、川田光伸、手島隆文、伊藤勝一、萩原紗和子、阿部博史、桜井正昭、中川 学 (名大理)、土井靖生、中村美穂 (東大総文)、中川貴雄、成田正直、松阪幸彦、金田英宏 (宇宙研)、巻内慎一郎 (東大理)、広本宣久 (通信総研)、奥田治之 (ぐんま天文台)、田中 誠 (NEC)、S.K.Ghosh,R.P.Verma (TIFR)、T.N.Rengarajan (INOAE) 10 : 24 W04a 赤外線天文衛星 ASTRO-F の開発状況について ○村上 浩 (宇宙研)、ASTRO-F チーム 10 : 36 W05a ASTRO-F 搭載 SiC 望遠鏡の極低温での光学性能評価 ○金田英宏 (宇宙研)、尾中 敬 (東大理)、山城亮治 (NIKON)、他 ASTRO-F チーム 10 : 48 W06a ASTRO-F 衛星搭載遠赤外線観測装置 FIS の飛翔モデル性能評価試験 ○川田光伸 (名大理)、他 ASTRO-F/FIS チーム 11 : 00 W07a ASTRO-F・IRC フライトモデルの開発状況 ○上水和田典 (西はりま天文台)、ASTRO-F IRC チーム 11 : 12 W08a ASTRO-F 搭載中間赤外線カメラ(MIR-L)光学系の性能評価 ○藤代尚文、尾中 敬、石原大助、金 宇征 (東大理)、松原英雄 (宇宙研)、度會英教 (NASDA)、他 ASTRO-F/IRC チーム

3 / 28 (木)		3 / 28 (木)	
11 : 24	W09b ASTRO-F 観測機冷却系の性能実証 ○中川貴雄 (宇宙研)、平林誠之 (住友重機)、他 ASTRO-F チーム	14 : 00	W17b Solar-B 衛星搭載 X線望遠鏡(XRT)カメラの開発進捗状況 ○鹿野良平 (国立天文台)、坂尾太郎 (宇宙研)、原 弘久、下条圭美、柴崎清登、常田佐久 (国立天文台)、松崎恵一、小杉健郎 (宇宙研)、岩村 哲、Zhangong Du、中野充彦、杉木光輝 (アストロリサーチ)、堀井通宏、田口孝治 (明星電気)、Solar-B 開発グループ
11 : 24	W10b ASTRO-F/IRC 検出器の性能 ○石原大助 (東大理)、和田武彦、松原英雄 (宇宙研)、度会英教 (NASDA) 他 ASTRO-F/IRC チーム	14 : 00	W18b Solar-B 光学望遠鏡・設計試験進捗状況 ○末松芳法、一本 潔、清水敏文、大坪政司、田村友範、野口本和、花岡庸一郎、常田佐久 (国立天文台)、勝川行雄、小林研、久保雅仁、阪本康史 (東大理)、永田伸一、松崎恵一、峯杉賢治、大西晃、小杉健郎 (宇宙研)、斉藤秀朗、松下匡、川口 昇、西村栄作、永江一博、仲尾次利崇、三神 泉、伊藤修、島田貞憲 (三菱電機)、海道宣明 (MSS)、長瀬雅之 (SEC)、武山芸英 (GENESIA)、鈴木正治 (CANON)、B. Rosenberg, A. Title (LMSAL)、L. Hill (NASA)
11 : 24	W11b ASTRO-F 搭載 Ge:Ga 遠赤外線検出器の放射線特性の研究 ○赤崎みどり、金田英宏、中川貴雄 (宇宙研)、他 ASTRO-F/FIS チーム	14 : 12	W19b Solar-B 搭載可視光望遠鏡 望遠鏡部組立調整試験報告 ○勝川行雄 (東大理)、末松芳法、一本 潔、大坪政司、常田佐久 (国立天文台)、斎藤秀朗、松下 匡、川口 昇、蓮山芳弘 (三菱電機)、SOT 開発グループ
11 : 36	W12b ASTRO-F(IRIS)搭載用遠赤外線検出器プリアンプのオペアンプとしての特性 ○日比康詞、芝井 広、平尾孝憲、渡部豊喜、永田洋久 (名大理)、野田 学 (名古屋市科学館)、他 ASTRO-F/FIS チーム	14 : 12	W20b Solar-B 衛星光学磁場望遠鏡の Collimator Lens Unit 熱光学試験 ○花岡庸一郎、一本 潔、清水敏文、末松芳法、野口本和、常田佐久 (国立天文台)、松下 匡 (三菱電機)、鈴木正治、阿部俊一 (キヤノン)、武山芸英 (ジェネシア)
11 : 36	W13b ASTRO-F 搭載用遠赤外線フーリエ分光器および FIS 分光モードの性能評価 ○高橋英則、芝井 広、川田光伸、村上紀子 (名大理)、中川貴雄 (宇宙研)、他 ASTRO-F/FIS チーム	14 : 12	W21b Solar-B のコンタミネーション評価 ○田村友範、原 弘久、一本 潔、常田佐久、熊谷収可 (国立天文台)
11 : 36	W14b ASTRO-F/FIS 搭載 Ge:Ga アレイ検出器における過渡応答特性 ○白旗麻衣、磯崎洋祐 (東大理)、松浦周二、M.A.Patashin、金田英宏、中川貴雄 (宇宙研)、藤原幹生 (通信総研)、川田光伸、芝井 広、平尾孝憲、渡部豊喜 (名大)、他 ASTRO-F/FIS チーム		
11 : 48	W15a 「ようこう」衛星運用 10 年の成果と教訓 ○小杉健郎、小川原嘉明 (宇宙研)、渡邊鉄也 (国立天文台)、「ようこう」運用チーム		
14 : 00	W16b Solar-B 衛星の開発進捗状況 ○清水敏文、常田佐久 (国立天文台)、小杉健郎 (宇宙科学研究所)、他 Solar-B 開発グループ		

3 / 28 (木)	3 / 28 (木)
W22c Solar-B 衛星搭載 EUV Imaging Spectrometer (EIS) 開発状況 ○原 弘久、渡邊鉄哉 (国立天文台)、小杉健郎、松崎恵一 (宇宙研)、英米 EIS チーム	14 : 36 W28a HETE-2 衛星の観測運用状況 ○河合誠之、坂本貴紀 (東工大理 / 理研)、吉田篤正 (青学大理工 / 理研)、松岡 勝 (宇宙開発事業団)、白崎裕治 (JST/NASDA)、玉川 徹、鳥居研一 (理研)、山内 誠、高岸邦夫、廿日出 勇 (宮崎大工)、G. Ricker, R. Vanderspek, G. Crew, J. Doty, G. Monnelly, J. Villaseñor, N. Butler (MIT)、J.-L. Atteica (CESR)、E.E. Fenimore, M. Galassi (LANL)、D.Q. Lamb, C. Graziani (シカゴ大)、K. Hurley, G. Jemigan (UCB)、S. Woosley (UCSC) 他 HETE-2 チーム
W23c Solar-B 可視光望遠鏡画像安定化装置の開発進捗状況 ○永田伸一 (宇宙研)、清水敏文、一本 潔、常田佐久 (国立天文台)、阪本康史、小林 研 (東大理)、松崎恵一 (宇宙研)、伊藤 修、柏木康弘、三木史朗、田畑真毅、小出来一秀、遠藤 真 (三菱電機)、他可視光望遠鏡開発グループ	14 : 48 W29a Astro-E2 計画 ○井上 一、國枝秀世、満田和久 (宇宙研)、他 Astro-E2 チーム (宇宙研、他)
W24c Solar-B 可視光望遠鏡の干渉計測の進捗状況 ○大坪政司、末松芳法、加藤禎博、一本 潔、常田佐久 (国立天文台)、勝川行雄 (東大理)、斉藤秀朗、松下 匡、鈴木二郎 (三菱電機)、他可視光望遠鏡開発グループ	15 : 00 W30a Astro-E2 衛星搭載 X 線分光装置 XRS ○藤本龍一、満田和久 (宇宙研)、大橋隆哉、山崎典子、石崎欣尚 (都立大)、Richard Kelley、古庄多恵 (NASA/GSFC)、他、XRS チーム
W25c Solar-B 可視光望遠鏡コリメーターレンズの偏光特性：ガラス硝材の残留ストレス測定 ○篠田一也、一本 潔、野口本和、金子慶子 (国立天文台)、鈴木正治、阿部俊一 (キャノン)、武山芸英 (ジェネシア)、松下 匡 (三菱電機)、SOT 開発グループ	15 : 12 W31a ASTRO-E2 XRT 搭載用プレコリメータの試作品の性能評価 ○森 英之、柴田 亮、飯塚 亮、伊藤 啓、國枝秀世、幅 良統、前田良知、見崎一民 (宇宙研)、石田 学、早川 彰 (都立大)
W26c Solar-B 可視光望遠鏡：微小振動に対する画像擾乱の評価 ○一本 潔、末松芳法、野口本和、常田佐久 (国立天文台)、仲尾次利崇、川口昇 (三菱電機)、峯杉賢治 (宇宙研)、SOT 開発グループ	15 : 24 W32a X 線望遠鏡の結像性能向上化の研究 ○伊藤 啓、見崎一民、幅 良統 (宇宙研)、早川 彰、石田 学 (都立大)、柴田 亮、森 英之、飯塚 亮、前田良知、國枝秀世 (宇宙研)
14 : 24 W27a XMM-Newton 衛星搭載の EPIC-PN 検出器のバックグラウンド特性 ○高橋 勲 (東大理)、片山晴善、林田 清 (阪大理)、池辺 靖、松下恭子、Michael J.Freyberg、Hans Böhringer (MPE)、牧島一夫 (東大理)	15 : 36 W33b HETE-2 衛星搭載 広視野 X 線モニター (WXM) のエネルギー応答関数 ○玉川 徹、鳥居研一 (理研)、河合誠之、坂本貴紀 (東工大理 / 理研)、吉田篤正 (青学大理工 / 理研)、松岡勝 (宇宙開発事業団)、白崎裕治 (JST/NASDA)、山内誠、高岸邦夫、廿日出 勇 (宮崎大工)、G. Ricker, R. Vanderspek, G. Crew, J. Doty, G. Monnelly, J. Villaseñor, N. Butler (MIT)、J.-L. Atteica (CESR)、E.E. Fenimore, M. Galassi (LANL)、D.Q. Lamb, C. Graziani (U-Chicago)、K. Hurley, G. Jemigan (UCB)、S. Woosley (UCSC) 他 HETE-2 チーム

3 / 28 (木)	3 / 29 (金)
15 : 36 W34b 全天 X 線監視装置 (MAXI) の GSC カウンタの位置分解能向上試験 ○中島基樹 (日大理工/理研)、三原建弘、桜井郁也、小浜光洋 (理研/宇宙放射線)、森井幹雄、片岡 淳 (東工大理)、河合誠之 (東工大理/理研)、松岡勝 (NASDA)、白崎裕治 (JST、NASDA) 15 : 36 W35b Flexible FPGA と SDRAM による MAXI 地上試験システムの開発—I(設計コンセプト) ○片岡 淳、河合誠之 (東工大理/NASDA)、能町正治 (阪大理)、吉田篤正 (青学理工)、小浜光洋、三原建弘、根来 均、桜井郁也 (理研)、松岡 勝 (NASDA) 他 MAXI チーム 15 : 48 W36b Astro-E2 搭載用 CCD カメラの可視光遮断フィルターの特性 ○北本俊二、須賀一治、小澤栄治、鈴木一真、加藤理紗、立花祐輔、辻 祐介、小金井 謙 (立大理)、林田 清、片山春善、中島雄介、江の口英之 (阪大理) 15 : 48 W37b 次世代 X 線マイクロカロリメータ開発用の断熱消磁冷凍機の製作 ○篠崎慶亮、石川 輝、石崎欣尚、山崎典子、大橋隆哉 (東京都立大)、三原建弘 (理化学研) 15 : 48 W38b 位置分解型ガス検出器 μ-PIC の X 線偏光測定への応用 ○植野 優、谷森 達、鶴 剛、窪 秀利、永吉 勉、折戸玲子 (京大理)、越智敦彦 (神戸大理)、小石 悟 (東工大理)、西 泰郎 (理学電機) W39c 全天 X 線監視装置 MAXI ○上野史郎、松岡 勝、富田 洋、白崎裕治、濱口健二、小松茂則、川崎一義、松原正季 (NASDA)、三原建弘、根来 均、小浜光洋 (理研)、常深 博、宮田 恵美 (阪大)、河合誠之、片岡淳 (東工大)、吉田篤正 (青山学院)、ほか MAXI チーム	W40c 大面積 X 線 CCD 衛星計画の提案 ○堂谷忠靖、上田佳宏、尾崎正伸、井上 一 (宇宙研) 09 : 30 W41a 多段広視野短焦点 X 線望遠鏡の開発-I ○田原 譲、小賀坂康志、田村啓輔、古沢彰浩、山下広順 (名大理) 09 : 42 W42a X 線望遠鏡用非球面薄板基板の開発 II ○粟木久光、平家憲和、三竿洋一 (愛媛大理)、田原 譲、小賀坂康志 (名大理)、国枝秀世 (宇宙研)、大森 整、林 偉民、守安 精、上野嘉之、森田晋也、片平和俊、劉 長嶺 (理研) 09 : 54 W43a キャピラリプレートを用いた宇宙 X 線集光系の開発と評価 ○江副祐一郎、杉保昌彦、笠間大介、村島未生、牧島一夫 (東大理)、A.N. Brunton、G.W. Fraser (Leicester 大) 10 : 06 W44a キャピラリーの特性測定と X 線観測への応用 ○早川 彰、石田 学 (東京都立大)、飯塚 亮、見崎一民、柴田 亮、幅 良統、伊藤 啓、森 英之、国枝秀世、前田良知 (宇宙研) 10 : 18 W45a TES 型 X 線マイクロカロリメータの開発 III ○森田うめ代、大橋隆哉、山崎典子、石崎欣尚、広池哲平 (都立大理)、満田和久、藤本龍一、伊予本直子、大島泰、二元和朗、竹井 洋 (宇宙研)、田中啓一、師岡利光、中山 哲、茅根一夫 (セイコーインスツルメンツ) 10 : 30 W46a X 線 CCD 検出器の高速駆動・データ処理系の開発 ○小川道雄、川崎正寛、穴吹直久、尾崎正伸、堂谷忠靖 (宇宙研)

X. 情報処理 (E 会場)

3 / 29 (金)		3 / 30 (土)	
10 : 42	W47a γ 線観測衛星搭載シリコンマイクロストリップセンサーの特性試験 ○増田博之、吉田勝一、大杉 節、深沢泰司 (広島大理)、釜江常好、半田隆信、E. Silva (SLAC)、H. Sadrozinski (UCSC)、山村和久、里 健一 (浜松ホトニクス)	09 : 30	X01a 自己重力多体系専用計算機 GRAPE-6 の開発状況 ○牧野淳一郎 (東大理)、福重俊幸 (東大総文)、泰地真弘人 (統数研)
10 : 54	W48a 次期 γ 線衛星 GLAST 用気球実験のトラッカー部のデータ解析 ○水嶋浩文、緒方 聖、水野恒史、深沢泰司、大杉 節 (広大理)、釜江常好、田島宏康、半田隆信 (SLAC)、尾崎正伸 (ISAS)、他 GLAST Balloon チーム	09 : 42	X02a GRAPE-VPP5000 異機種並列天文シミュレーター —IMPI を用いた性能評価— ○林 満 (総研大)、伊藤孝士、小久保英一郎、小山 洋、富阪幸治、和田桂一 (国立天文台)、内田延宏 (富士通株)、浅井 登 (富士通インフォソフトテクノロジー)、植村英司 (富士通株)、杉本一高 (富士通インフォソフトテクノロジー)、本間節夫 (富士通株)
11 : 06	W49a γ 線衛星 GLAST 開発用 Geant4 シミュレーターの物理課程の検証 ○緒方 聖 (広大理)、釜江常好 (SLAC)、水嶋浩文、水野恒史、深沢泰司、大杉 節 (広大理)、Patric Valtersson (Royal Institute of Technology)、他 GLAST Balloon チーム	09 : 54	X03a 2 ギガビット VLBI (2048Mbps) に成功 ○中島潤一、木村守孝、近藤哲朗、小山泰弘、関戸 衛 (通信総研) X04c 分散オブジェクト技術を用いた電波データ解析ツールの開発 ○池田美穂、大石雅寿 (国立天文台) X05c 惑星の画像処理におけるアンシャープマスクについて ○浅田 正 (九国大経済)
11 : 18	W50a 宇宙ガンマ線観測用 CdTe ダイオード検出器の開発 I ～衛星搭載に向けた素子の評価実験～ ○渡辺 伸、小林謙仁、三谷列史、佐藤悟朗、古宇田 学、中澤知洋、高橋忠幸 (宇宙研)、国分紀秀、高橋 勲、岡田 祐、村島未生、河原田 円 (東大理)	10 : 06	X06b 宇宙シミュレーション・ネットラボラトリーシステムの開発 (6) : 統合ソフトウェア CANS (天文数値伍詰)、可視化システムの開発 ○福田尚也 (JST/千葉大理)、横山央明、工藤哲洋 (国立天文台)、松元亮治 (千葉大理)、ネットラボラトリーチーム
11 : 30	W51a 宇宙ガンマ線観測用 CdTe ダイオード検出器の開発 II ～気球実験による実証と将来計画～ ○中澤知洋、高橋忠幸、渡辺 伸、古宇田学、佐藤悟朗、小林謙仁、三谷烈史、山上隆正、松坂幸彦、久保田あや (宇宙研)、岡田 祐 (東大理)、能町正治、菅谷頼仁 (大阪大核)	10 : 06	X07b 全天 X 線監視装置 MAXI の DP 及び地上系データ処理システム ○根来 均、三原建弘、小浜光洋、桜井郁也 (理化学研)、松岡 勝、富田 洋、上野史郎 (宇宙開発事業団)、河合誠之、片岡 淳 (東工大理)、吉田篤正 (青学理)、宮田恵美、常深 博 (阪大理)
		10 : 06	X08b 並列適合格子分割多体計算法 ○矢作日出樹、吉井 譲 (東大理)
		10 : 18	X09b 倍長倍精度関数ライブラリ DLDP の開発 ○福島登志夫 (国立天文台)

Y. 天文教育・その他 (D 会場)

3 / 29 (金)		3 / 29 (金)	
13 : 30	Y01a グリニジで収集された接食の解析による月縁データ ○相馬 充、加藤雄二 (国立天文台) Y02c ケプラー 3 法則への再訪 ○成相恭二、大野英美、奥山朋子、高井千尋 (明星大) Y03c ガリレオ・ガリレイ望遠鏡の光学系の復元と彼の天体観測を再現 秋山晋一 (室生観測所)、今井陽子、○横尾武夫 (大阪教育大教育) Y04c 1 マイクロ秒角の電波基準座標系を目指して ○藤下光身 (九東大工)		Y09c 「北の丸望遠鏡」を用いた教育活動ー教育用リモート望遠鏡による画像配信の試みー 縣 秀彦 (国立天文台)、戎崎俊一 (理研)、奥野 光 (科学技術館)、○川井和彦、木村かおる (理研)、小池邦昭 (東理大理)、田代英俊 (科学技術館)、内藤誠一郎 (東大理)、山本泰士 (電通大電気通信) Y10c IRAF を用いたネットワーク指向型画像処理システムの開発と教育利用 ○小池邦昭 (東理大理)、縣 秀彦 (国立天文台)、田中義洋 (学芸大附属高) Y11c 3 次元立体視天体位置表示ソフトウェアの開発 - 2 ○林 雅治、宮路茂樹 (千葉大自然)、野本知理 (東大理)、半田利弘、内藤誠一郎 (東大天文センター)
13 : 42	Y05a 天文学・天体物理学における 1981-98 年の HIP (High-Impact Papers) ○寿岳 潤 (文明研)、棚橋佳子 (ISI トムソン)		
13 : 54	Y06a 日本天文学会におけるジュニアセッションの試みについて ○吉川 真、縣秀彦、有本淳一、石川直美、大山真満、小野智子、鈴木文二、谷川智康、永井智哉、西村昌能、西山広太、長谷川直子、松本直記、室井恭子、矢治健太郎、山岡 均、渡部潤一 (ジュニアセッション世話人会)	14 : 18	Y12a 美星スペースガードセンターの多量画像データを使った教育活動 (III)ー小惑星探しの教材化ー ○高橋典嗣、浅見敦夫、David Asher、布施哲治、橋本就安、磯部しゅう三、中野主一、西山広太、大島良明、寺蘭淳也、梅原広明、浦田 武、吉川 真 (日本スペースガード協会) Y13c 天文教材智恵袋プロジェクト<めぞん一刻> ○小澤朋子、福江 純 (大阪教育大教育)
14 : 06	Y07a 科学教育活動 Hands-On Universe の日本での実践とその評価 ○縣 秀彦 (国立天文台)、五島正光 (巣鴨高)、松本直記 (慶應高)、千頭一郎 (県立沖永良部高)、畠中 亮 (東工大社会理工)、川井和彦、戎崎俊一 (理研) Y08c 天文教育における国際協力 戎崎俊一、○木村かおる (理研)、Vivian Hoette (Yerkes Observatory)、Kevin McCarron (Oak Park and River Forest Hish School)	14 : 30	Y14a インターネットで閲覧できる暗黒星雲デジタルギャラリーの作成 ○上原 隼、土橋一仁、神鳥 亮、佐藤文男 (東京学芸大) Y15c インターネットで閲覧できる暗黒星雲デジタルギャラリーの紹介 ○上原 隼、土橋一仁、神鳥 亮、佐藤文男 (東京学芸大)

3 / 29 (金)		3 / 29 (金)	
14 : 42	Y16b	15 : 06	Y23b
	Digitized Sky Survey を利用した暗黒星雲の学生実験教材の開発 ○神鳥 亮、土橋一仁、上原 隼、佐藤文男 (東京学芸大)		計算機ネットワークに支援された高校天文教育 一国立南九州病院でのHOUを事例としてー ○五島正光 (巣鴨高)、縣 秀彦 (国立天文台)、千頭一郎 (県立沖永良部高)、柴田直人 (筑波大教育)、畠中 亮 (東工大社会理工)
14 : 42	Y17b		
	太陽系近傍恒星位置 3 次元可視化ソフトウェア HippLiner を用いた科学館での演示 ○野本知理、半田利弘 (東大理)	15 : 06	Y24b
14 : 42	Y18b		教育のための国際共同観測の実践と教育利用 ○松本直記 (慶應義塾高)、古莊玲子 (科学技術振興事業団)、縣 秀彦 (国立天文台)、小菅 京 (東工大附属工高)、畠中 亮 (東工大社会理工)
	Windows 版教育用天文画像処理ソフト SPIRAEA の開発 長田昌子、○大谷順子、濱部 勝 (日本女子大理)		
14 : 54	Y19b	15 : 18	Y25b
	流星群立体ウェブ表示・中継システムの構築 ○綾仁一哉 (美星天文台)、奥野拓馬、曾我真人 (和歌山大システム工学)、嶋村圭史 (倉敷芸術科学大産業技術)、宮本 敦 (さじアストロパーク)、和田英一 他 (ライブ!レオニズ実行委員会)		2001 年アフリカ日食におけるインターネットを使った遠隔講義 ○高橋典嗣 (明星大)、縣 秀彦 (国立天文台)、前田香織 (広島市立大)、尾久土正己 (みさと天文台)、山崎良雄 (千葉大)
14 : 54	Y20b	15 : 18	Y26b
	「高校生天体観測ネットワーク」の実施状況としし座流星群の教育的意義 ○有本淳一 (塔南高校)、鈴木文二 (三郷工業技術高校)、高校生天体観測ネットワーク運営委員会		「ぐんま天文学校」の実施結果と評価 ○大林 均、河北秀世、瀧崎智佳、長谷川 隆、浜根寿彦 (ぐんま天文台)、他ぐんま天文台スタッフ
14 : 54	Y21b	15 : 18	Y27b
	高校生天体観測ネットワーク・しし座流星群観測会 ○小川 宏 (筑波大自然)、高校生天体観測ネットワーク実行委員会		Flamsteed「天球圖譜」と「Histria Coelestis Britannica」の相違点 ○藤原智子 (DANOF Observatoire de Paris、京産大理)
15 : 06	Y22b		
	「高校生天体観測ネットワーク」による「木星食観測会」のとりくみ 小田桐茂良 (青森高)、○篠原秀雄 (三郷北高)、高校生天体観測ネットワーク運営委員会		

第4回ジュニアセッション

口頭セッション 1 : 3月28日(木) 10:00～12:00 G会場

司会: 大西 浩次(長野工業高等専門学校)、畠 浩二(岡山商科大学付属高等学校)

- 01 : ラムカ観測から求めた獅子座流星群のインフラックスと密度 <口頭・ポスター>
堀江美保(高2)、辻 泰弘(高3)、松本直也(高3)、佐藤哲朗(高3)、
安藤慎一郎(高3)、栗本高行(高2)、安藤雄介(高2)、加藤智子(高2)、
川田陽介(高1) 【岐阜高校天文部】
- 02 : ビデオ観測によるしし座 γ 流星群とりゅう座 ϵ 流星群の比較 <口頭・ポスター>
後藤 元(中等3)、内海洋輔(中等5)
【東京大学教育学部附属中等教育学校天文部】
- 03 : 2001年しし座流星群道南合同観測会の結果について <口頭・ポスター>
扇谷響子(高2)、榊あかね(高2)、榊香文子(高2)、佐野 綾(高2)、
渋谷早季子(高2)、宮脇智恵子(高2)、盛川郁代(高2)、横関野生(高2)、
伴田 玲(高3)、日笠頌子(中3) 【遺愛女子中学高等学校】
- 04 : 副都心(池袋)での「しし座流星群2001」 <口頭>
落合 崇(高1)、河野哲史(高1)、秋吉慧(高1)、渡邊正起(高1)、
佐藤貴彦(高1)、堀 武久(中3) 【巣鴨中学高等学校】
- 05 : 2001年しし座流星群におけるHRO電波観測とCCDビデオ観測 <口頭・ポスター>
朝日奈隆(高3) 【名城大学附属高等学校】
- 06 : HROと高感度ビデオカメラによる流星の観測 <口頭・ポスター>
内海洋輔(中等5) 【東京大学教育学部附属中等教育学校】
- 07 : HROによるしし座流星群の観測 <口頭・ポスター>
緒方洋輔(高2)、森田淳一(高2)、塚田順一(高2)、田中智子(高2)、
鬼山薫子(高2)、射手矢良太(高2)、丸山潤一(高2)、藤野翔太(高2)、
成田英雄(高1)、南部広夢(高1)、若旅久嗣(高1)、山崎美鈴(高1)、
吉元 彩(高1) 【埼玉県立越谷北高等学校天文気象部】
- 08 : 近接する2地点の電波流星観測(HRO)の同時流星検出率とその考察 <口頭・ポスター>
小林亮介(高2)、安部祐介(高2)、大塚伸吾(高2)、中村映舞(高2)、
松本有美恵(高1)、古澤良子(高1) 【上田高校】
飯島由紀子(高専2)、小林 彩(高専2) 【長野工業高等専門学校】
- 09 : HROとFRO <口頭・ポスター>
宮尾佳世(高2) 【愛知県立旭丘高校】
- 10 : 電波観測による2001年後半の流星の出現について <口頭・ポスター>
浅井愛由美(高1)、伊藤貴恵子(高1)、久我智子(高1)、瀧上真梨子(高1)
【星野女子高校天文部】

11 : カラーフィルムで撮った Leonids 流星のスペクトルから得られる物理量 <口頭・ポスター>
 鈴木明日香 (高2)、梶原知恵子 (高2)、安田多希 (高2)
 【川越女子高校】

12 : 流星スペクトルの再現実験 <口頭>
 三浦珠美 (高1)、斎藤美緒 (高1)、弓座美保 (高1)
 【埼玉県立三郷工業技術高校自然科学部】

口頭セッション 2 : 3月28日 (木) 14:00~15:50 G会場
 司会: 雁沢 夏子 (遺愛女子中学高等学校)、鈴木 文二 (三郷工業技術高等学校)

13 : Collaborative asteroid detection and astronomical projects <口頭・ポスター>
 with Japanese schools (3講演)
 Ami Higgins (Wirral Grammar Girls School, UK)
 Sam Lombard (The Birkenhead School, UK)
 Richard Hearn (The Mosslands School, UK)

14 : 小惑星探し <口頭>
 塩入新也 (高2)、増田竜至 (高2)、加治屋智美 (高3)
 【鹿児島県立加治木養護学校】

15 : 一タ方の満月は大きいカー <口頭・ポスター>
 見かけの大きさ変化による月までの距離測定
 千野貴彦 (高専2)、青木良枝 (高専2)、飯島由紀子 (高専2)、小林 彩 (高専2)、
 山田真澄 (高専3)、徳永麻伊 (高専3) 【長野工業高等専門学校】

16 : 2001年8月16日木星食の観測 <口頭・ポスター>
 真辺 彩 (高2)、大隣敏也 (高2)、中村吉宏 (高2)、鮫島由紀子 (高2)
 【鹿児島県立錦江湾高等学校天文研究部】

17 : BSアンテナ、傘、中華鍋などを用いた電波望遠鏡の製作と太陽電波の検出 <口頭・ポスター>
 大石 和 (高2) 【静岡県立浜松北高等学校】

18 : WZ Sge の変光の観測 <口頭・ポスター>
 安形 剛 (高2) 【千葉県立千葉高等学校】
 石野佑紀子 (高1) 【京都府立嵯峨野高等学校】
 牛山孝夫 (高2) 【諏訪清陵高等学校】
 西山大地 (高2) 【京都府立嵯峨野高等学校】

19 : 宇宙ってホントに膨張しているの? <口頭・ポスター>
 一銀河の分光観測によるハッブル定数の測定ー
 猪熊公輔 (高2)、石原佳喜 (高2)、赤枝倫年 (高2) 【岡山商科大学付属高校】
 他、星の学校2001参加者

20 : カッシーニの空気望遠鏡の再現 <口頭>
 青山紗千 (高2) 【茨城県立水戸第二高等学校】

ポスターのみ

- 21 : 月と地球—ジャイアント・インパクト説— <ポスター>
丸山知里 (高2) 【大分県立南高校】
- 22 : 木星の四大衛星の動きについての考察 <ポスター>
前田洸登 (中3) 【神奈川県茅ヶ崎市立浜須賀中学校】
- 23 : 1998 年と 2001 年のしし座流星群の計数観測から <ポスター>
尾崎 環 (中1) 【茗溪学園中学校】

※ ポスターセッション (ポスター会場にて)

3 月 28 日 (木) 13:00 ~ 14:00

3 月 29 日 (金) 11:30 ~ 12:30

3 月 30 日 (土) 11:30 ~ 12:30

年会実行委員会

委員長	茂 山 俊 和	(東大理)
委 員	犬塚 修一郎	(京大理)
	上 田 佳 宏	(宇宙研)
	嶋 作 一 大	(東大理)
	河野 孝太郎	(東大理)
	山 岡 均	(九大理)
	鈴 木 知 治	(東大理)
	加藤 万里子	(慶應大) 保育室担当
	吉 川 真	(宇宙研) ジュニアセッション担当

年会開催地理事

吉 田 龍 生 (茨城大)